

目黒区美術館年報 平成13年度

目黒区美術館年報  
平成13年度

## 目次

I. 展覧会	4
II. 教育普及	48
III. 入館状況	54
IV. 作品収集	55
V. 作品等貸出	56
VI. 刊行	57
VII. 区民ギャラリー	58
VIII. ボランティア	60
IX. 美術館実習	61
X. 名簿	62
XI. 施設	63
XII. 沿革	64
XIII. 案内	65

## 生誕100年記念 荻須 高德展

会期：2001(平成13)年4月18日～6月3日(41日間)

会場：展示室ABC 展示ロビー エントランスホール ワークショップ

主催：目黒区美術館 朝日新聞社 NHK NHKプロモーション

担当学芸員：矢内みどり

巡回スケジュール：2001年6月7日～7月8日 秋田市立千秋美術館

2001年7月14日～7月29日 名古屋・松坂屋美術館

2001年8月4日～9月9日 北九州市立美術館

2001年9月15日～10月21日 佐久市立近代美術館

2001年10月25日～11月6日 大丸ミュージアムKOBE

2001年11月13日～2002年1月27日 稲沢市荻須記念美術館

2002年2月9日～3月24日 富山県立近代美術館

荻須高德は、愛知県稲沢市に生まれ、東京・目黒の叔父の家から東京美術学校に通い、卒業後渡仏。大戦中一時帰国するが、生涯の殆どをパリで過ごし、パリ街角の古い建物を愛情深く見つめ、日仏で高い評価を得て、Oguissの署名で親しまれた。本年生誕100年を記念して日本初公開作品を含む国内外の油彩、水彩、素描等、約120点によりその全画業を回顧した。

### ● カタログ

寸法：27.0×22.5cm

ページ数：185ページ

内容：ごあいさつ(主催者)／パリの荻須、荻須のパリ(高階秀爾)／荻須高德復活(安岡章太郎)／100年の軌跡(矢内みどり)／図版(Planches)／対談(高階秀爾・荻須美代子)／年譜／文献目録／Bibliographie sélective／出品リスト(Liste des œuvres)

### ● ポスター

サイズ：B2、B3、インターサイズ(280mm×515mm)

### ● チラシ

サイズ：A4

### ● 主要関連記事

- ・『あいぼりー 京王線沿線生活マガジン』Vol. 19 2001 SPRING 京王電鉄株式会社広報部 28頁
- ・「生誕100年 荻須高德展」『望星』373号 2001年4月号 東海教育研究所 115頁
- ・田中三蔵「造形が生み出す詩情 [生誕100年記念 荻須高德展]」『朝日新聞』2001年4月12日 16面
- ・「荻須画伯の作品 区美術館に寄贈」『朝日新聞』2001年4月12日 東京 32面
- ・矢内みどり「驚くべき芸術への献身 生誕100年荻須高德展」『朝日新聞』2001年4月18日朝刊
- ・「生誕100年記念 荻須高德展 [注目の展覧会から]」『BT』No. 805 2001年5月号 美術出版社
- ・木谷節子「生誕100年記念 荻須高德展」『婦人公論』No. 1083 2001年5月7日
- ・中根寛「①「ルーアン」33年制作 [Oguissを語ろうー生誕100年記念 荻須高德展]」『朝日新聞』2001年5月22日朝刊 第二東京面
- ・石井好子「②「モンマルトル」28～29年制作 [Oguissを語ろうー生誕100年記念 荻須高德展]」『朝日新聞』2001年5月23日朝刊 第二東京面
- ・石鍋裕「③「マレー地区」81年制作 [Oguissを語ろうー生誕100年記念 荻須高德展]」『朝日新聞』2001年5月24日朝刊 第二東京面
- ・今里隆「④「室内(ジュネーヴ)」64年制作 [Oguissを語ろうー生誕100年記念 荻須高德展]」

『朝日新聞』2001年5月25日朝刊 第二東京面

・佐藤忠良「⑤「枯れた花」70年制作 [Oguissを語ろう一生誕100年記念 荻須高德展]」

『朝日新聞』2001年5月26日朝刊 第二東京面

・片岡みい子「街並みと壁を描き続け、オギスは「パリ」になった」『家庭画報』2001年6月号 世界文化社



B3ポスター



会場風景

## 出品リスト

No.	作品名	制作年	寸法(高さ×幅cm)	技法・材質	所蔵【展示替等】
1	自画像	1927	60.6×45.5	油彩・カンヴァス	東京藝術大学美術館
2	広告のあるモンパルナス	1928	60×73	油彩・カンヴァス	
3	ボヘミアンの車	1928	60×73	油彩・カンヴァス	
4	広告塔	1928	73.5×60	油彩・カンヴァス	
5	サンジェルマン・シュールモランの教会	1928	73×60	油彩・カンヴァス	
6	ヴェトイユ	1928	73×60	油彩・カンヴァス	
7	サン・メダール市場	1928	60×73.5	油彩・カンヴァス	
8	アベッス通りぬけ	1928-29	73.5×60	油彩・カンヴァス	
9	エッドガール・キネ	1928-29	72.5×60	油彩・カンヴァス	
10	モンマルトル	1928-29	60×73	油彩・カンヴァス	
11	新聞屋	1929	60×73	油彩・カンヴァス	
12	花屋	1929	44×33	油彩・カンヴァス	
13	ホテル・リヨンドール、パリ	1929	60×73	油彩・カンヴァス	
14	ポルト・ド・プレザンス	1929	65×92	油彩・カンヴァス	
15	アントワープ〈ベルギー〉	1929	73×60	油彩・カンヴァス	
16	食料品店	1929	60.5×73.5	油彩・カンヴァス	
17	テルトル広場の広告塔	1929	60×73	油彩・カンヴァス	
18	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	1929	60×73.5	油彩・カンヴァス	
19	ガレージ	1929-30	60×73	油彩・カンヴァス	
20	街角(グルネル)	1929-30	73×61	油彩・カンヴァス	三重県立美術館【目黒美術館不出品】
21	病院	1930	50×61	油彩・カンヴァス	
22	婦人	1930	81×65	油彩・カンヴァス	
23	果物屋	1930	73×60	油彩・カンヴァス	
24	花	1930	35×35	油彩・板	
25	イル・サンルイの通り	1930	72.5×61	油彩・カンヴァス	
26	ラ・サンテ通り	1930	60.5×81.5	油彩・カンヴァス	
27	八百屋と床屋	1930	60×73	油彩・カンヴァス	
28	トリエルの寺院	1930	81×100	油彩・カンヴァス	稲沢市荻須記念美術館
29	広告のある家(パリの屋根の下)	1931	60×73	油彩・カンヴァス	稲沢市荻須記念美術館
30	パリのカフェ	1931	60×73	油彩・カンヴァス	目黒区美術館
31	コルシカ	1931	60×72.5	油彩・カンヴァス	
32	サン・メダール通り	1932-33	65×81	油彩・カンヴァス	稲沢市荻須記念美術館
33	広告のある風景	1933	60×73	油彩・カンヴァス	
34	ルーアン	1933	116×89	油彩・カンヴァス	
35	パリの並木道(アンジュー河岸)	1933	73×60	油彩・カンヴァス	
36	ポルト・ド・ヴェルサイユ	1933	60.5×81.5	油彩・カンヴァス	
37	芍薬	1933-34	61×46	油彩・カンヴァス	
38	ノワルムーチェの風車	1934	89×116	油彩・カンヴァス	稲沢市荻須記念美術館
39	レイモンドの肖像	1934	73×60	油彩・カンヴァス	
40	テルトル広場	1934	180×240	油彩・板	
41	サン・マルコ寺院〈ヴェネツィア〉	1935	60.5×73	油彩・カンヴァス	
42	サクレキユール遠望	1935	80.5×61	油彩・カンヴァス	
43	自画像	1935	46.5×38.5	油彩・カンヴァス	
44	オスピダーレ〈ヴェネツィア〉	1935	60×73	油彩・カンヴァス	
45	ノルヴァン通り、モンマルトル	1935	65.5×81	油彩・カンヴァス	
46	噴水〈ジュネーブ〉	1935-36	73×60.5	油彩・カンヴァス	
47	サン・タンドレ・デザール広場	1936	73×92	油彩・カンヴァス	フランス国立近代美術館(ボンビドゥーセンター)
48	シテ・ドレ	1936	65×92	油彩・カンヴァス	フランス国立近代美術館(ボンビドゥーセンター)
49	プロヴァン風景	1936	81×100	油彩・カンヴァス	
50	アンジュー河岸	1936	60×73	油彩・カンヴァス	三重県立美術館
51	サン・ジェルヴェ通り	1937	60.5×73	油彩・カンヴァス	
52	自動車修理屋	1937	65.5×92	油彩・カンヴァス	
53	卓上の静物	1937	60×91	油彩・カンヴァス	
54	ラ・モンターニュ・サント・ジュヌヴィエーヴ通り	1937	72.5×59.5	油彩・カンヴァス	

No	作品名	制作年	寸法(高さ×幅cm)	技法・材質	所蔵 [展示替等]
55	蚤の市	1937	54×81	油彩・カンヴァス	
56	エタンプのサンジル寺	1938	92×73.5	油彩・カンヴァス	
57	シャロンヌ通り	1938-39	61×73.5	油彩・カンヴァス	
58	モンマルトルのシュヴァリエ・ド・ラ・パール通り	1940	65.5×80.5	油彩・カンヴァス	
59	モンマルトル裏	1940	73×90	油彩・カンヴァス	東京国立近代美術館 [目黒美術館不出品]
60	サン・ジェルマン・ロクセロワ、パリ	1949	60×73	油彩・カンヴァス	岐阜県美術館
61	サンドニのカフェ	1949-50	60×73	油彩・カンヴァス	
62	プレヴォー通り	1949-50	73×54	油彩・カンヴァス	
63	パリの屋根	1950	162×130	油彩・カンヴァス	
64	中庭 (サンドニ)	1950	60.5×73.5	油彩・カンヴァス	
65	サン・マルタンの裏町	1950	100×81	油彩・カンヴァス	
66	城の台所 (ドンジュエの城)	1950-51	81×100	油彩・カンヴァス	
67	バンバラ城 (イギリス)	1952	60×73	油彩・カンヴァス	宮内庁
68	バンバラ城 (イギリス)	1952	50×61	油彩・カンヴァス	宮内庁 [目黒美術館不出品]
69	店 (絵の具屋)	1953	60×73	油彩・カンヴァス	パリ市現代芸術基金
70	びん	1954	92×60	油彩・カンヴァス	
71	中庭	1954	162×97	油彩・カンヴァス	大原美術館
72	雪のサン・ドニ運河	1955	55×46	油彩・カンヴァス	[前期]
73	雑貨屋	1956	65×54	油彩・カンヴァス	サン・ドニ市歴史美術博物館
74	アムステルダム運河	1956	90.5×64	油彩・カンヴァス	名古屋市美術館
75	樫並木 (ジュネーブ)	1958	60.5×73.5	油彩・カンヴァス	[前期]
76	クリメ通り	1958-59	60×73	油彩・カンヴァス	
77	カスカード街	1959	92×65	油彩・カンヴァス	
78	雪 (霧屋敷)	1959	60×73	油彩・カンヴァス	
79	花	1959	65×50	油彩・カンヴァス	
80	サン・ブレーズ広場	1960	114×162	油彩・カンヴァス	大原美術館
81	店	1961	114×146	油彩・カンヴァス	フランス文化省国立現代芸術基金 [後期]
82	鍵屋	1961-63	146×97	油彩・カンヴァス	
83	大運河 (ヴェネツィア)	1963	97×195	油彩・カンヴァス	
84	セザールの塔 (プロヴァン)	1964	100×65	油彩・カンヴァス	イル・ド・フランス美術館
85	室内 (ジュネーブ)	1964	130×97	油彩・カンヴァス	
86	黄色の壁	1964	97×130	油彩・カンヴァス	
87	ナントウイエ城	1967	82×100	油彩・カンヴァス	イル・ド・フランス美術館
88	ル・ベック (パリ郊外)	1967	162×130	油彩・カンヴァス	神奈川県立近代美術館
89	シャルルマーニュ街	1968	97×131	油彩・カンヴァス	カルナヴァレ パリ歴史美術館
90	ヴェルチュ通り	1968-69	54.5×65.5	油彩・カンヴァス	
91	芍薬	1969	61×38	油彩・カンヴァス	
92	マントの古い橋	1969	60×92	油彩・カンヴァス	
93	枯れた花	1970	55×46	油彩・カンヴァス	
94	青い壁	1970	65.5×81	油彩・カンヴァス	
95	ルールック橋	1971	81×100	油彩・カンヴァス	
96	マルリーのセーヌ河	1971	54×65	油彩・カンヴァス	
97	ロワ・ドレ通り	1972	65×54	油彩・カンヴァス	カルナヴァレ パリ歴史美術館
98	僧院の回廊	1973	73×92	油彩・カンヴァス	日本赤十字社
99	小さなホテル	1974	65.5×54	油彩・カンヴァス	
100	ヴァン・リキユール	1975	65.5×81.5	油彩・カンヴァス	
101	オー・モカ・シャロンヌ	1976頃	81×100	油彩・カンヴァス	稲沢市荻須記念美術館
102	洗濯場	1977	130×162	油彩・カンヴァス	呉市美術館
103	ア・ラ・グリーユ	1978	81×100	油彩・カンヴァス	
104	靴屋	1978	73-92	油彩・カンヴァス	サン・ドニ市歴史美術博物館
105	マレー地区	1981	116×89	油彩・カンヴァス	山形美術館寄託
106	線路	1985	81×100	油彩・カンヴァス	
107	オー・ボン・ヴィヴァン	1985	116×89	油彩・カンヴァス	
108	アルジャントゥイユの通り (絶筆)	1986	60×73	油彩・カンヴァス	

No	作品名	制作年	寸法(高さ×幅cm)	技法・材質	所蔵 [展示替等]
AD-1	アルル 1	1928	24.0×31.5	鉛筆	[後期]
AD-2	市場の肉屋	1930	32.5×25.5	水彩	[後期]
AD-3	モーリス・ベナール	1933	32.5×24.5	ペン	[後期]
AD-4	ノルマンディの海岸	1937	32.0×24.5	水彩	[後期]
AD-5	奥エジプト (ルクソール)	1939	32.0×24.5	水彩	
AD-6	農家の台所 (ノルマンディ)	1950	29.0×20.5	ペン	
AD-7	サン・ジョルジュ (ヴェネツィア)	1957	24.7×32.7	ペン	
AD-8	シャロンヌ通り	1959	23.5×31.5	水彩	[前期]
AD-9	古い橋 (マント)	1960	21.5×30.5	ペン	
AD-10	階段 (イタリア)	1962	33.0×23.5	水彩	[前期]
AD-11	サン・ロッコ (ヴェネツィア)	1963	32.0×24.8	ペン	
AD-12	アトリエの窓	1966	30.5×21.5	ペン、淡彩	[後期]
AD-13	マロニエ (ヴェルサイユ)	1969	25.0×32.5	水彩	[前期]
AD-14	バラディソ (ヴェネツィア)	1970	32.5×25.5	水彩	[前期]
AD-15	魚市場 (ヴェネツィア)	1973	32.0×50.0	水彩	[前期]
AD-16	ブラハ	1977	32.5×25.0	水彩	[前期]
AD-17	古い木	1977	24.3×31.4	ペン	
AD-18	サン・マルタン運河	1978	25.0×32.5	水彩	[前期]
AD-19	ルイ15世の家	1980	25.0×32.5	水彩	[後期]
AD-20	ルネッサンス印刷所	1983	24.9×32.0	水彩	[後期]

特別展示 [目黒区美術館会場のみ]

1	目黒大塚山からサッポロビール工場を望む	1925-1926	53×65	油彩・カンヴァス	サッポロビール株式会社
2	目黒大塚山からの風景	1926	45.5×53	油彩・カンヴァス	目黒区美術館 (荻須高德夫人からの寄贈)
3	にわとり	1938頃	38.5×46.6	油彩・カンヴァス	目黒区美術館
4	鯖		27.2×35.4	油彩・カンヴァス	目黒区美術館
5	サンマルタン通り	1960	32×50	水彩・紙	目黒区美術館 (ピリエの会からの寄贈)
6	新緑のころ、4月19日 (サッポロビール工場)	1925頃	約17×8.5	鉛筆・紙	サッポロビール株式会社
7	新緑のころ、4月19日 (サッポロビール工場)	1925頃	約17×8.5	鉛筆・紙	サッポロビール株式会社
8~15	東京風景8点 (第2次大戦頃)		15×20.2(各)	水彩・紙	個人蔵

※会期中展示替え

前期 4月18日(水)～5月9日(水)

後期 5月10日(木)～6月3日(日)

カタログNo.72, 75→No.81

カタログNo.AD-8, AD-10, AD-13, AD-14, AD-15, AD-16, AD-18→No.AD-1, AD-2, AD-3, AD-4, AD-12, AD-19, AD-20



---

# 新匠工芸会春季展

---

会期：2001（平成13）年5月8日－5月20日（12日間）

会場：区民ギャラリー

主催：目黒区美術館、新匠工芸会

担当学芸員：福永重樹（館長）

新匠工芸会は1947年に創設され、春と秋に展覧会活動を行っている。常に現代に即した創造的な作品であることを趣旨として制作された作品を展示紹介した。

● カタログ

作品リストコピー

寸法：25.5×36.0cm 1ページ

● ちらしなど

案内はがき

寸法：14.8×10.0cm

## 出品リスト

No.	氏名	品目	題名
<b>陶磁</b>			
1	江口 滉	甕	千甕字文の甕 10点
2	金常清	花器	樹葉文花器
3	川原康孝	壺	染付唐草文壺
4	川原康孝	壺	染付唐草文壺
5	川原康孝	壺	染付四方つなぎ文壺
6	川原康孝	壺	染付四方つなぎ文壺
7	川原康孝	壺	染付青海波文壺
8	川原康孝	壺	染付七宝くずし文壺
9	川原康孝	壺	染付水滴文壺
10	川原康孝	壺	染付梯子文壺
11	甲本章人		器 2点
12	河本匠司	壺	陰刻文扁壺
13	近藤知子	花器	花波文花器
14	前田昭博	壺	白瓷捻壺
15	森みの里	壺	象嵌稲穂文壺
16	安田圭一	壺	赤土象嵌甲蟲の図壺
17	後藤乃婦子	花さし	花文花さし I II III IV
18	羽鳥恵子	鉢	彩泥象嵌鉢
19	日峰正道	壺	抜絵龍文壺
<b>漆芸</b>			
1	冬木偉沙夫	屏風	漆小屏風「ブルターニュの朝」
2	望月重延		みどり児
3	永田一輝	箱	小箱「楽園II」
4	永田一輝	盛器	盛器「あやめ図」
<b>木工</b>			
1	今井歳郎		マガジンラック
<b>金工</b>			
1	佐土浩一		打込象嵌「波文うつわ」
<b>七宝</b>			
1	近藤久野	香炉	有線七宝「砂の道」
2	近藤久野	香合	有線七宝「仲秋」
3	近藤久野	茶入	有線七宝「波文」
4	近藤久野		省胎七宝飾壺「リラの花」
5	近藤久野	棗	泥七宝「なぎさ」
6	近藤久野	棗	螺鈿入り「朝もや」
7	近藤久野	香合	「くわい」
8	近藤久野	香合	「秋葉」
9	近藤久野	香合	銀杏「秋晴」
10	近藤久野		省胎七宝小壺「さみだれ」
11	近藤久野		有線七宝合子「陽」

No.	氏名	品目	題名
12	布施田惇子		有線七宝合子「春」
	<b>染織</b>		
1	生島潤子	タペストリー	窓越しの庭
2	伊砂利彦	額	水面の月
3	伊砂利彦	額	廃墟の月
4	伊砂利彦	着物	芭蕉布着物「残波」
5	伊砂新雄	パネル	とうがらし
6	伊砂新雄	パネル	しめじと うど
7	伊砂新雄	パネル	キュウイ・フルーツ
8	井上和子	タペストリー	讃歌
9	上原晴子	帯地	いといろいろ
10	小川良子	あかり (立体)	灯り 2点
11	荻野美穂子	タペストリー	月光譜Ⅱ
12	川上貴子	タペストリー	white works
13	桑島順子	パネル	PLY-SPLIT
14	小杉美奈	着物	紬織着物「松蔭」
15	嶋野徑子	着物	春うらら
16	東海林杏子	オブジェ	chanson à message
17	東海林杏子		de ver à soie (蚕の伝言)
18	鈴木敬子	タペストリー	宙(ソラ)Ⅱ
19	星澤美喜子	着物	漸漸
20	宮崎トキ		「自然讃歌」植物たちからのメッセージ 草の精 木の精
21	矢川由美子	着物	紬織着物「ミモザ色の季」
22	矢川由美子	タペストリー	光の中でⅡ
23	安岡桂子	着物	春陽
24	吉田匡廣	着物	さくら
25	青木邦子	壁面飾りの灯り	暮色
26	飯塚美絵	タペストリー	跳(おどる)
27	飯塚美絵	タペストリー	和
28	今泉郁子	織による立体	蠶
29	小川裕恵	タペストリー	水音
30	川辺美津子	パネル	ノワール
31	川辺美津子	パネル	ルージュ
32	呉羽陽子	タペストリー	水ぬるむ
33	こだかみどり	パネル	beyond the circle
34	佐々木博子	額	無題ⅠⅡⅢⅣ
35	佐藤百合子	着物	流沙紋振袖
36	平田裕子	タペストリー	春やなぎ
37	米山美代	訪問着	早春

# 第38回 朝日陶芸展

会期：2001（平成13）年6月20日～7月22日（29日間）

会場：展示室ABC 展示ロビー エントランスホール ワークショップ

主催：目黒区美術館、朝日新聞社

担当学芸員：山田敦雄

巡回スケジュール：2000年8月31日～9月5日 名古屋市 丸栄スカイル

2000年9月15日～10月15日 滋賀県信楽町 陶芸の森信楽産業展示館

2000年10月18日～11月26日 福井県宮崎村 福井県陶芸館

2001年1月27日～2月25日 高浜市 やきものの里かわら美術館

2001年6月20日～7月22日 東京都 目黒区美術館

朝日陶芸展は、戦後日本の現代陶芸公募展の先駆となり、数多くの優れた陶芸家を世に送ってきた。38回目を迎える本年も、歴史ある陶芸展にふさわしい厳しい審査によって選ばれた入賞・入選作品を展示。伝統的な技術のうえに切り開かれた新たな陶芸の地平を示した。

## ● カタログ

寸法：21.0×29.7

ページ数：70ページ

内容：ごあいさつ（主催者）／第38回朝日陶芸展の審査を終えて（審査委員長 鈴木治）／審査風景／審査所感、入賞作品／入選作品／入賞・入選者リスト／応募者統計グラフ歴代入賞者・審査委員一覧／歴代グランプリ受賞作品

## ● ポスター

サイズ：B3

## ● チラシ

サイズ：A4



会場風景



会場風景



B3ポスター

## 作品リスト

No.	氏名	題名	寸法	
1	泉田之也	孤	20×78×44	朝日陶芸グランプリ
2	加藤仁香	器（昆虫）	90×90×90	朝日陶芸秀作賞
3	阪井義彦	経筒／TIME CAPSULE IN OUR AGE	50×140×110	朝日陶芸秀作賞
4	岸上秀一	虚と実の反転	50×300×45	朝日陶芸秀作賞
5	西山勇	青瓷釉採更紗文鉢	12×53×53	特別賞（川崎記念賞）
6	小山耕一	金銅白金彩幾何文四方皿	14×54×54	陶芸奨励賞
7	西田 潤	絶	50×60×120	陶芸奨励賞
8	辻野創範	希望の風跡	64×120×60	陶芸奨励賞
9	高橋和也	揺籃	30×200×200	陶芸奨励賞
10	金子信彦	遙かなる	87×88×88	陶芸奨励賞
11	古野克征	柿灰釉皿	11×63×63	
12	森 昌和	南瓜紋大鉢	16.5×61×61	
13	岸本みゆき	夏畑	10×49.5×49.5	
14	菅野広志	火星の黙示録	38×50×56	
15	下村順子	ちからの行方	33×85×36	
16	馬場桂子	抱きしめたい形	40×100×80	
17	山田 聡	蝕器	17×68×70	
18	梅村健児	17歳	87×86×54	
19	渡辺ヒロ子	沈黙する叫び...	170×63×47	
20	餘吾ひろこ	キャッスル	60×114×50	
21	山本昌広	砂泥彩器三本組	71×48×48	
22	井手津久雄	器	31×61×54	
23	山中純子	To the deep ii	38×52×52	
24	松本昌樹	ゆらぎ	58×83×65	
25	水野真澄	環	70×65×30	
26	櫻田恭子	やわらかく・つつみこむ	75×70×60	
27	江崎紀子	Sprit	54×60×25	
28	高橋和起	自然釉窯変花器	49×20×20	
29	近藤葉子	存在スル理由 其ノ二	87×28×28	
30	岡 重利	青瓷器	49.5×28×28	
31	古野幸治	黄河釉大鉢	13×69×69	
32	加藤重美	彩鉢	18×50×50	
33	橋川充雄	練上鉢－輪廻－	15×54×54	
34	海老原利美	In waves	16×179×61	
35	千田玲子	UNDER BLUE	18×170×27	
36	北村信樹	痕跡－二つの力－ ii	25×70×25	
37	林みちよ	SILVER BOWL	10×25×30	
38	東みを子	黒い刻	25×25×25	
39	清水 篤	My sweet home	23.5×88×20	
40	松尾道代	風のままに	33×43×43	
41	末次観節	萩炭化六面花器	46×42×38	

No.	氏名	題名	寸法
42	酒井博司	志野花器	40×40×40
43	村上和美	白泥蝶文大壺	42×42×42
44	荻野萬寿子	練上大壺	31×34.1×34.1
45	加藤益男	象嵌壺	35.5×53×53
46	岡部元信	デジタル的アナログ	141×170×55
47	原口知子	生	35×140×34
48	吉田幸央	彩色金襴手花器	22×38×38
49	竹内且岱	黄彩白地黒搔落魚文大鉢	25×40×40
50	豊田志郎	鉢	21.5×28×28
51	橋詰正英	釉描加彩葛乃図大壺	32.2×38×38
52	藤森由貴	赤地黒彩文壺～宙the infinity～	40×52×52
53	水谷俊雄	Body	52×54×38
54	加藤 顕	7 3 0	48×93×33
55	太田冬亀	備前叩長方皿	6×80×46
56	山下 毅	蜃気楼	49×76×40
57	三輪太一	空文様の映った楽園No.2	112×43×43
58	井原義雄	JOY	102×57×15
59	熊谷さくら	HANABI	100×150×100
60	阿 奴	筐	22.5×28×25
61	富岡大介	うねり iii	35×67×30
62	AGNES HUSZ	メタモルフォーゼ	41.5×62×47
63	宮尾昌宏	備前輪花鉢	27×44.5×44.5
64	川井明子	備前ドラ鉢	9×55×55
65	大場久夫	器	4×57×57
66	森田高正	route	152.5×78×60
67	田内隆利	FOREST	136×75×75
68	木村彰弘	プロメテウス	93×50×50
69	青木 拳	composition 2000	15×183×184
70	渡部慎貴	青い結晶	7.5×205×205
71	田屋道子	trailing note	18×51×39
72	加藤智也	包空	50×50×50
73	岡野昭吾	同類相求メル	10×80×80
74	吉岡 順	染付蓮文組皿	3.5×29.5×29.5
75	河端一海	白磁組鉢	20×65×60
76	畑 絢子	跡	12×115×115
77	川西幹雄	ひらく ii	87×33×43
78	大竹 直	作品00-2	103×37×36
79	吉本敏彦	土の約束	122×60×60
80	福島寛子	呉須絵麻葉文鉢	11.5×46×46
81	樋口邦春	銀彩風車文鉢	12×50×50
82	丹波文武	緑彩水面皿	8.5×52×44

No.	氏名	題名	寸法
83	中村太一	白いうつわ '00-1・2	16.5×120×80
84	許斐良助	～漂白のかたち～	40×23×170
85	吉岡 淳	空の印	34×154×177
86	亀田大介	忘却の闇	56×20×20
87	橋本松籟	立つ	60×24×24
88	柿沼一郎	層	76×44×19
89	清水康司	過程-癒し	30×30×37
90	田中光謙	青瓷大鉢	18.5×55×55
91	木村将人	白瓷輪花鉢	17×55×55
92	長谷川邦雄	FLY TO THE MOON	25×225×82
93	板鼻真弓	be here	36×136×24
94	谷口勇三	時集層	85×65×15
95	渡辺志野	いにしえからのメッセージ	108×110×70
96	後藤真子	朽ちゆく	50×45×110

# 第6回 昭和シェル石油現代美術賞展

会期：2001（平成13）年7月3日～7月22日（18日間）

会場：区民ギャラリー

主催：目黒区美術館、昭和シェル石油株式会社

担当学芸員：福永重樹（館長）

昭和シェル石油現代美術賞は埋もれた新進作家を発掘し、将来性ある才能を美術界に送り込むことを目的に創設され、毎年、一般公募して優秀作品に賞を授与し、受賞作品、入選作品を展示紹介している。目黒区美術館区民ギャラリーでの展覧会開催は4回目であるが、本展では、グランプリ作品1点、審査員賞3点、審査員特別賞4点を含む入選作品60点を展示、紹介した。東京会場を終了後、堺市立文化館ギャラリーで大阪展を開催した。

## ● カタログ

寸法：21×25.7

ページ数：52ページ

内容：審査所感（目黒区美術館館長 福永重樹 多摩美術大学教授・府中市美術館館長 本江邦夫、フランス美術評論家連盟会員・武蔵野美術大学教授 岡部あおみ）／図版／第6回昭和シェル石油現代美術賞入賞入選者リスト



ポスター



## 出品リスト

No	作家名	作品名	制作年	寸法	技法・素材 (cm)	受賞
1	曾谷 朝絵	Buthtub	2001	97.0×145.5	油彩／綿布・パネル	グランプリ
(福永重樹選出作品)						
2	川那部 綾	Andante	2001	145.0×112.0	ステンレススチール	福永重樹審査員賞
3	安達 正夫	境界面の付近より	2001	145.0×112.1	油彩／キャンバス	
4	天野 志保	生活	2001	145.0×145.0	油彩／綿布・パネル	
5	伊藤 孝	無関心	2001	145.0×112.1	油彩・オイルパステル／キャンバス	
6	伊藤 千鶴子	内奥の風景	2001	145.0×112.1	アクリル／キャンバス	
7	内田 初音	部屋Ⅱ	2001	116.7×90.9	油彩／パネル	
8	鹿島 寛	TRE COCORI S- I	2001	103.0×145.0	アクリル／綿布・パネル	
9	河内 孝夫	非合理で確かな空間	2001	145.0×112.1	油彩・エンコスティック／キャンバス	
10	キモト 喜之	留め置かれた時間	2001	130.3×97.0	鉄板・油彩・布／キャンバス・パネル	
11	齋藤 義郎	潮風	2001	112.1×145.5	グアッシュ／キャンバス	
12	武井 恭子	ヒカリトカゲ	2001	145.5×97.0	油彩／キャンバス	
13	竹村 芳樹	赤と青	2001	145.0×145.0	油彩／木・合板	
14	中野 修一	野を渡る	2001	112.1×145.5	油彩／キャンバス	
15	中村 美知生	ぼくの領分 01-502	2001	123.5×68.0	和紙に謄写版・墨・アクリル・カラーインク	
16	藤井 浩一朗	無題	2001	136.0×71.0	ワイヤージンク・油彩・顔料／綿布・パネル	審査員特別賞
17	柳澤 泉	6月の水	2001	145.5×89.4	岩絵具／麻紙	
18	矢原 繁長	breath-B	2001	92.0×145.0	ミクストメディア	
19	山崎 功一	白線絨緞	2001	145.5×145.5	油彩／キャンバス	
20	山崎 勝嗣	ANGLE	2001	145.5×145.5	アクリル／綿布	
21	鷺津 民子	"Through ,01-Ⅲ"	2001	145.5×145.5	アクリル・顔料・インク／綿布	
(本江邦夫選出作品)						
22	大谷 有花	眼のある風景	2001	145.5×112.1	油彩／キャンバス	本江邦夫審査員賞
23	宇野 之雅	horizon	2001	145.5×112.1	油彩／キャンバス	審査員特別賞
24	国安 真成	Room	2001	112.1×145.5	油彩／キャンバス	
25	小村 美佳	父と子と精霊と	2000	97.0×130.3	油彩／キャンバス	
26	斎藤 琢磨	遠い記憶の底	2001	90.9×72.7	油彩／キャンバス	
27	滝田 典子	freedom	2000	116.7×116.7	油彩／キャンバス	
28	露木 麻子	長葱 1	2001	80.3×116.7	油彩／キャンバス	
29	中田 美紗	めぶくころ	2001	130.3×97.0	油彩／キャンバス	
30	根本 美恵	ミズカガミ	2001	140.0×145.5	岩絵具・顔料・膠／土佐麻紙・木製パネル	
31	林 佳子	展覧会	2001	112.1×145.5	油彩／キャンバス	
32	平体 文枝	garden 8-2	2000	145.5×112.1	油彩・オイルスティック／キャンバス	
33	平野 牧子	恋路・源平橋	2001	145.5×112.1	油彩・パステル／キャンバス	審査員特別賞
34	福森 優太	scape-0131	2001	70.0×100.0	顔料・油彩インク・転写(銅版)／紙	
35	不二山 陽子	空と人	2001	112.1×145.5	油彩／キャンバス	
36	古澤 優子	星座のきざし	2001	116.7×116.7	岩絵具／雲肌麻紙	
37	ホシバ リョウミツ	同じであることと違うこと ; ホルバインの『リスとホシムクドリにいる婦人の肖像』より I	1999	71.0×56.0	リトグラフ	
38	三浦 洋子	息音	2001	145.5×112.1	アクリル／キャンバス	

No	作家名	作品名	制作年	寸法	技法・素材 (cm)	受賞
39	森本 玄	vessel:water	2001	145.5×112.1	油彩／キャンバス	
40	吉野 涼子	無題	2000	100.0×80.3	油彩・色鉛筆・鉛筆・オイルパステル／キャンバス	
41	四辻 良弘	考えてみれば	2001	100.0×72.7	油彩／キャンバス	
(岡部あおみ選出作品)						
42	中村 有花	fur	2001	145.5×145.5	アクリル／キャンバス	岡部あおみ審査員賞
43	稲永 友子	静物画+	2001	100.0×80.3	油彩／板	
44	江口 繁	いつのまにか	2000	130.3×130.3	アクリル／キャンバス	
45	河西 太一郎	サボタージュ	2001	97.0×145.5	アクリル・ラッカーズプレー／キャンバス	
46	北浦 信一郎	正しい生活	2001	145.5×112.1	アクリル・ラッカーペイント／キャンバス	審査員特別賞
47	下部 美帆	記憶の断片	2001	112.1×145.5	ミクストメディア	
48	栗山 冴子	01-M	2001	145.5×145.5	紙・パネル	
49	黒木 美樹江	183654	2001	145.5×145.5	油彩／麻キャンバス	
50	阪本 トクロウ	午後	2001	110.5×145.5	アクリル／綿布	
51	傍嶋 飛龍	無意識的精神構築記	2001	109.0×145.0	クレヨン・鉛筆・色鉛筆・コーヒー／紙・パネル	
52	高木 理枝子	溶母	2000	145.5×145.5	油彩／キャンバス	
53	多田 真由美	P-50	2001	145.0×145.0	油彩・布／パネル	
54	戸沢 佳代子	Grand Canyon 7.12.2000	2001	97.0×145.5	油彩／キャンバス	
55	鳥井 智宏	nuance I (色合い)	2001	130.3×97.0	リキテックス／キャンバス	
56	永岡 大輔	やすしの存在	2001	145.5×112.1	油彩／キャンバス	
57	則武 孝彦	Simple Things	2001	110.0×91.0	アクリル・マジック／綿布	
58	橋村 至星	Lunatic Silence	2001	116.7×90.9	アクリル・クレパス・コラージュ／キャンバス	
59	古川 陣	Move ①	2001	145.5×112.1	アクリル／綿布	
60	森本 ゆみ	自由というかせとみすかされた脳	2001	116.7×116.7	油彩／綿布	
61	矢部 奈桜子	pudding	2001	125.0×145.0	油彩／キャンバス	

# 色の博物誌・緑展

会期：2001（平成13）年8月4日－9月19日（40日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー ワークショップ

主催：目黒区美術館

協賛：コダック株式会社・ディックカラー&デザイン株式会社・ロリアルアーツアンドサイエンスファンデーション・ホルベイン工業株式会社

担当学芸員：降旗千賀子

青・赤・白&黒と続けてきた「色の博物誌」シリーズの第4弾。自然素材の中で種類が限られていた色材・緑に着目、“孔雀石（マラカイト）”や、“緑土（テールベルト）”をとりあげた。緑は、“翡翠”の精神性、“露草”と“ガンボージ”の重ねに見るはかなさなど、日本人にとって重要な文化のシーンをつくってきた。本展は、緑をキーワードに素材・歴史・民俗・美術を横断し、ワークショップとともに緑の魅力にせまった。

## ● カタログ

寸法：22.4×28.1cm

ページ数：87ページ

内容：ごあいさつ（主催者）／近代絵画と緑色絵具（森田恒之）／図版／孔雀石と緑青の文化史（関根秀樹）／豊潤な影ーささえる色・緑（降旗千賀子）／作家解説／作品リスト／主要参考文献／ワークショップ

## ● ポスター

サイズ：B3

ページ数：87ページ

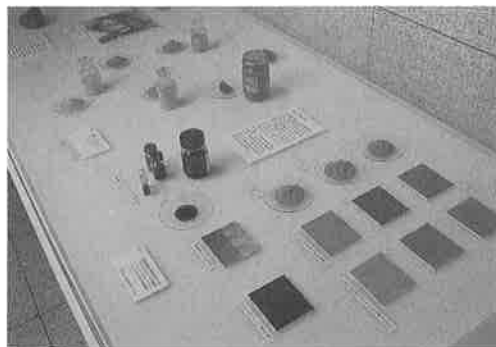
## ● チラシ

サイズ：A4

## ● 主要関連記事



B3ポスター



会場風景



会場風景

凡例

- 考古資料、民俗資料、素材については、出品番号、資料名、産地・出土地・制作地、年代、寸法（長辺・単位cm）、所蔵の順に記載。
- 美術作品に関しては、基本的に、出品番号、作品名、作家名、制作年、技法・材質、寸法（縦×横×高・単位cm）、所蔵先の順に記載。
- 特記事項には\*を付した。

**I. 概念としての緑—古代の緑**

I-1 ヒスイ (Jade/NaAlSi <sub>2</sub> O <sub>2</sub> ) ガテマラ 長23.0 国立科学博物館 (民谷標本)	長10.6 個人蔵  I-9 緑柱石 (Beryl/Be <sub>3</sub> Al <sub>2</sub> Si <sub>6</sub> O <sub>18</sub> +Cr通称エメラルド) コロンビア 長4.8 国立科学博物館	I-16 大珠 (ヒスイ製) 縄文時代中期 長野県上伊那郡 長7.0 東京国立博物館
I-2 ヒスイ輝石 (Jadeite/NaAlSi <sub>2</sub> O <sub>2</sub> ) 新潟県糸魚川市小滝小滝川 長10.0 国立科学博物館 (櫻井標本)	I-10 大珠 (ヒスイ製) 多磨ニュータウンno.72遺跡 縄文時代前期 東京都埋蔵文化財センター	I-17 大珠 (ヒスイ輝石製) 東京都八王子市高倉町 縄文時代中期 長6.0 東京国立博物館
I-3 ヒスイ輝石 (Jadeite/NaAlSi <sub>2</sub> O <sub>2</sub> ) 新潟県糸魚川市笹川河口 長35.0 國學院大學考古學資料館	I-11 勾玉 茨城県東茨城郡大洗町磯浜常陸鏡塚古墳 古墳時代 長3.5 國學院大學考古學資料館	I-18 大珠 (ヒスイ製) 静岡県 縄文時代中期 長9.5 東京国立博物館
I-4 ヒスイ (Jade/NaAlSi <sub>2</sub> O <sub>2</sub> ) ミャンマー 長18.7	I-12 勾玉 奈良県 縄文時代晩期 長2.5 國學院大學考古學資料館	I-19 垂飾 (ヒスイ製) 出土地不詳 縄文時代中期 長6.0 東京国立博物館
I-5 ヒスイ (Jade/NaAlSi <sub>2</sub> O <sub>2</sub> ) プレート5枚 ミャンマー 長4.0~10.0 国立科学博物館	I-13 勾玉 (碧玉製) 奈良県 古墳時代 長2.5 國學院大學考古學資料館	I-20 勾玉 (ヒスイ製) 5個 佐賀県東松浦郡浜玉町谷口古墳 古墳時代 4-5世紀 長1.5~1.9 東京国立博物館
I-6 コスモクロア輝石 (Kosmochlor/NaCrSi <sub>2</sub> O <sub>4</sub> ) ミャンマー 長8.3 ジョイテック	I-14 垂飾 (ヒスイ輝石製) 千葉県佐倉市生谷松山遺跡 縄文時代中期 長4.2 國學院大學考古學資料館	I-21 管玉 (碧玉製 細形) 一括(2連57+48個) 佐賀県東松浦郡浜玉町谷口古墳 古墳時代 4-5世紀 長0.4~4.0 東京国立博物館
I-7 碧玉 (Jasper/SiO <sub>2</sub> ) 島根県八束郡玉湯村玉造 長8.0 国立科学博物館	I-15 垂飾 (ヒスイ製) 青森県八戸市新井田 縄文時代中期~後期 長3.5 東京国立博物館	I-22 勾玉 (ヒスイ製) 2個 群馬県佐波郡玉村町字角淵軍配山古墳 古墳時代 4世紀 長3.0、3.0
I-8 角閃石/軟玉 (Nephrite/Ca <sub>2</sub> (Mg,Fe) 5 Si <sub>8</sub> O <sub>22</sub> (OH) <sub>2</sub> ) 新潟県糸魚川市姫川		

東京国立博物館

I -23

勾玉・白  
(ヒスイ製)、  
勾玉  
(碧玉製)

宮城県仙台市太白区鹿野 1 丁目一塚古墳  
古墳時代 5世紀  
長2.7、3.4  
東京国立博物館

I -24

管玉  
(碧玉製 太形) 6個  
愛媛県周桑郡小松町三島神社境内  
古墳時代 6世紀  
長2.5~2.0  
東京国立博物館

I -25

車輪石残欠  
(碧玉製)  
奈良県磯城郡川西町島の山古墳  
古墳時代 4-5世紀  
長16.8  
東京国立博物館

I -26

石釧  
(碧玉製)  
香川県善通寺与北町字西村字山根  
古墳時代 4世紀  
径7.8  
東京国立博物館

I -27

鍬形石  
(碧玉製)  
岐阜県岐阜市下城田寺坂尻1号墳  
古墳時代 4世紀  
径15.5  
東京国立博物館

I -28

勾玉  
(ヒスイ製)  
山口県下関市綾羅木  
古墳時代 4-5世紀  
東京国立博物館

I -29

形象埴輪断片 (赤と緑の彩色のある朝)  
兵庫県芦屋市打出小槌古墳  
古墳時代 5世紀末前後  
長32.0  
芦屋市教育委員会 (芦屋市立美術博物館保管)

I -30

形象埴輪破片  
(緑彩色のある)  
奈良県天理市岩室池古墳  
古墳時代 6世紀前半  
長15.0  
天理市教育委員会

## II. 色材としての緑

### 1. 緑青

II -1

孔雀石  
(Malachite/Cu<sub>2</sub> (CO<sub>3</sub>) (OH) 2)  
秋田県北秋田郡阿仁町阿仁鉱山  
長24.0  
国立科学博物館 (櫻井標本)

II -2

孔雀石  
(Malachite/Cu<sub>2</sub> (CO<sub>3</sub>) (OH) 2)  
ザイール  
長24.0  
国立科学博物館

II -3

孔雀石  
(Malachite/Cu<sub>2</sub> (CO<sub>3</sub>) (OH) 2)  
秋田県仙北郡協和町荒川鉱山  
長14.0  
国立科学博物館

II -4

孔雀石  
(Malachite/Cu<sub>2</sub> (CO<sub>3</sub>) (OH) 2)  
と藍銅鉱  
(Azurite/Cu<sub>3</sub> (CO<sub>3</sub>) 2 (OH) 2) 2個  
静岡県下田市河津鉱山  
長6.5、6.0  
国立科学博物館 (櫻井標本)  
\*孔雀石と藍銅鉱の共生の例

II -5

孔雀石  
(Malachite/Cu<sub>2</sub> (CO<sub>3</sub>) (OH) 2)  
ザイール  
ナカガワ胡粉絵具株式会社

II -6

-1.天然顔料 松葉緑青10段階 (5番~白緑まで)  
-2.天然顔料 濃口焼緑青 (8番、11番)、淡口焼緑青 (8番、11番)  
-3.天然顔料 リザードストーン原石と顔料「柳葉裏」8番・11番、グリーンジャスパール原石と顔料「緑瑪瑙」8番・11番、緑簾石 原石と「黄碧玉」8番・11番  
ナカガワ胡粉絵具株式会社

II -7

濃ノ下緑青  
山口県美祿郡美東町  
ナカガワ胡粉絵具株式会社

II -8

-1天然顔料 松葉緑青16段階カラーチャート  
-2天然顔料 松葉緑青水干分粒計14本  
-3日本画における緑系顔料絵具色見本  
個人蔵

II -9

自然銅  
(Copper/Cu)  
アメリカミシガン州カルレット  
長12.0  
国立科学博物館  
\*錆の緑青がみられる

II -10

内行花文鏡  
(白銅)  
漢時代 (前202-220年)  
径19.5  
個人蔵  
\*錆の緑青がみられる

II -11-1

鉱物図鑑  
Mineralreich in Bildern  
Dr.J.C.v.Kurr.  
1858年 銅版画 Schreiber & Schill  
個人蔵

II -11-2

英国産鉱物の標本図鑑  
British Minerals  
Rashleigh  
1797年 銅版画 London  
個人蔵

II -12

絵具色見本-緑  
(マラカイトグリーン、カバーレジネイト、テールベルト、グリーンバイス、ベルディグリほか)  
修復研究所  
制作協力：渡辺郁夫

II -13

ライオンのとげを抜く聖ヒエロニムス  
1450年頃  
木版・手彩色/紙  
20.0×13.9  
町田市立国際版画美術館

II -14

木版本「貧者の聖書」第6葉

1440年以前  
木版・手彩色／紙  
27.0×19.6  
町田市立国際版画美術館

II-15  
木版本「黙示録」第4版、第37葉  
1465年頃  
木版・手彩色／紙  
24.7×19.5  
町田市立国際版画美術館

II-16  
草鹿図  
作者不祥（無款）  
江戸時代 寛文年間（1661-73）  
紙本着色 六曲一隻  
151.9×345.4  
千葉市美術館

II-17  
桐菊流水図屏風  
酒井道一  
江戸時代後期 19世紀  
絹本着色 二曲一双  
（各）171.4×172.4  
板橋区立美術館

II-18  
花鳥図  
狩野栄信  
江戸時代後期 19世紀  
絹本着色 一幅  
95.0×36.7  
板橋区立美術館

II-19  
鎖鎌の女・太刀の男  
五姓田芳柳派  
明治時代前期  
麻布着色 二幅  
各114.5×45.5  
星野画廊

II-20  
薫風  
鐙木清方  
1918（大正7）年  
絹本着色 一幅  
173.8×71.8  
千葉市美術館

II-21  
楚蓮香  
松村梅叟  
1904-05（明治37-39）年  
紙本着色 一幅  
168.0×39.0  
星野画廊

II-22  
道行図  
田中案山子  
1925（大正14）年  
絹本着色  
64.6×50.8  
星野画廊

II-23  
いで湯  
勝田哲  
1938（昭和13）年  
紙本着色  
66.1×75.0  
個人蔵

II-24  
蓮池  
奥村土牛  
1929（昭和4）年  
絹本着色  
134.8×142.8  
東京都現代美術館

II-25  
金魚  
岡本大更（左隻）・松村梅叟（右隻）  
大正時代前期  
絹本着色  
141.3×189.2  
星野画廊

II-27  
瓶原の農家  
秦テルヲ  
昭和初期  
絹本着色 一幅  
116.8×35.6  
星野画廊

II-26  
夏の宵  
増原宗一  
1926（大正15）年  
169.0×166.2  
星野画廊

## 2. 緑土（テルベルト／）

II-28  
海緑石  
(Glauconite)/(K,Na,Ca)(Fe<sup>3+</sup>,Al,Mg,Fe<sup>2+</sup>)<sub>2</sub>)  
石川県能登島町  
長10.0  
個人蔵

II-29  
セラドン石

(Celadonite)/K<sub>1-x</sub>(Fe<sup>3+</sup>,Mg)<sub>2</sub>[(OH)<sub>2</sub>(Si,Al)<sub>4</sub>O<sub>10</sub>]  
静岡県賀茂郡河津町菖蒲沢  
長9.5  
国立科学博物館

II-30  
緑土  
(テルベルト)、  
粘土鉱物  
日本、イギリス、イタリア、ドイツ、オランダのメーカーのテルベルト

II-31  
復元模写  
天使（リナイウォーリ祭壇画 サンマルコ寺院美術館）  
原作：フラ・アンジェリコ 1433年  
木島隆康  
1992-93（平成4-5）年  
テンペラ／板（ポプラ合板）  
50.0×23.0  
個人蔵  
\*祭壇画現物の大きさは330×260

II-32  
復元模写 途中行程  
天使（リナイウォーリ祭壇画 サンマルコ寺院美術館）  
原作：フラ・アンジェリコ 1433年  
木島隆康  
1995-96（平成7-8）年  
テンペラ／板（シナ合板）  
50.0×23.0  
個人蔵

II-33  
参考写真  
聖ミカエルと龍  
バルナ・ダ・シエナ  
14世紀中ごろ  
テンペラ／板  
40.5×19.0  
国立西洋美術館

## 3. 洋風表現の導入

II-34  
鷲図  
小田野直武  
江戸時代中期  
絹本着色 一幅  
107.0×49.5  
\*秋田蘭画 II-34~37

II-35  
老松図  
佐竹曙山

江戸時代中期  
絹本着色 一幅  
114.0×49.4

II-36  
蝦蟇仙人図  
無款  
江戸時代中期  
絹本着色 一幅  
109.2×34.8

II-37  
紅紫牡丹図  
無款  
江戸時代中期  
絹本着色 一幅  
93.4×38.0

II-38  
蓮採図  
作者不詳  
清時代  
紙本着色  
24.3×37.4  
個人蔵  
\*浮絵II-38~41

II-39  
風景図  
作者不詳  
清時代  
紙本着色  
24.3×37.4  
個人蔵

II-40  
郊外庭園の図  
作者不詳  
清時代  
紙本着色  
24.3×37.4  
個人蔵

II-41  
街中の図  
作者不詳  
清時代  
紙本着色  
24.4×37.4  
個人蔵

#### 4. 混色・調色の緑

II-42  
緑を混色するための青と黄色の素材  
-1. 藍、露草、プルシャンブルー

-2. 刈安、ウコン、キハダ、ズミ、藤黄（ガンボージ）、石黄

-3. 染色の緑：カラーサンプル（青と黄色の混色）—黄色（カリヤス）による3種 濃中淡、青（藍）による3種 濃中淡、カリヤスと藍の混色による緑3種  
制作協力：高橋麻子

II-43  
浮世絵の緑—混色と重色  
黄色  
（ガンボージ、キハダ、ウコン、ズミ、石黄）  
青  
（藍、露草、ペロ藍（プルシャンブルー））  
制作協力：立原茂基

II-44  
緑羅紗地稲穂丸紋付陣羽織 no.397  
江戸時代 17世紀  
丈94.0、衿31.7  
東京国立博物館

II-45  
萌黄縮緬地竹垣梅桜文字模様小袖 no.2945  
江戸時代 18世紀前半  
丈154.6、衿63.6  
東京国立博物館

II-46  
濃萌黄縮緬地草木籬模様単衣  
江戸時代 18世紀後半  
丈156.2、衿58.4  
東京国立博物館

II-47  
萌黄縮緬地御所解模様振袖  
江戸時代18世紀後半~19世紀前半  
丈159.2、衿63.2  
個人蔵

II-48  
鸚色縮緬地松竹梅鶴模様小袖  
江戸時代 19世紀前半  
丈144.0、衿61.0  
個人蔵

II-49  
染分縮緬地蘭菊模様振袖  
大正時代  
丈98.4、衿39.5  
個人蔵  
\*科学染料の緑

II-50  
山姥と金太郎 頬ずり  
喜多川歌麿  
江戸時代 享和年間（1801-04）  
大判錦絵 版元：西村屋与八  
個人蔵

II-51  
復元 山姥と金太郎 頬ずり  
（喜多川歌麿）  
立原茂基  
2000（平成12）年  
大判錦絵  
個人蔵

II-52  
風流 艶色真似ゑもん  
鈴木春信  
江戸時代 明和7（1770）年  
横中判錦絵 版元：西村屋与八  
個人蔵

II-53  
初代 尾上松助  
勝川春章  
江戸時代 明和8-9（1771-72）年  
細判錦絵 版元：未詳  
個人蔵

II-54  
曾我五郎時宗 御所之五郎丸  
勝川春章  
江戸時代 寛政年間（1789-1801）  
大判錦絵 版元：西村屋与八  
個人蔵

II-55  
助六曲輪名取草  
勝川春章  
江戸時代 天明2（1782）年  
細判錦絵五枚続の右 版元：未詳  
個人蔵

II-56  
東都 御茶之水風景  
昇亭北寿  
江戸時代 文化・文政年間（1804-30）  
横大判錦絵 版元：山本屋平吉  
個人蔵

II-57  
江戸名勝図会 真乳山  
二代 歌川広重  
江戸時代 文久2（1862）年  
大判錦絵 版元：藤岡屋次郎  
個人蔵

II-58  
江戸砂子子供遊 日本橋  
歌川（落合）芳幾  
江戸時代 万延元（1860）年  
大判錦絵 版元：加賀屋吉兵衛  
個人蔵

## 5. 化学合成された近代の緑

II-59  
緑の絵具—エメラルドグリーン (1814) (現在製造中止)、ビリジャン (1859)、クロムオキサイドグリーン (1862)  
フタロシアニングリーン

II-60  
エラニーの教会と農園  
カミーユ・ピサロ  
1884年  
油彩／キャンバス  
54.5×63.0  
群馬県立近代美術館

II-61  
エラニーの牛を追う娘  
カミーユ・ピサロ  
1884年  
油彩／キャンバス  
59.7×73.3  
埼玉県立近代美術館

II-62  
パリの風景  
五姓田義松  
1883 (明治16) 年  
油彩／キャンバス  
35.3×57.8  
府中市美術館

II-63  
アブニューオッシュ  
鹿子木孟郎  
1916-17 (大正5-6) 年  
油彩／キャンバス  
50.1×61.0  
目黒区美術館

II-64  
風景  
国吉康雄  
1918 (大正7) 年  
油彩／キャンバス  
48.6×58.7  
目黒区美術館

## III. 緑色の役割、緑色の効果

### 1. 影を支える

III-1  
裸婦習作  
黒田清輝  
滞欧期 (1884 ?1893)  
油彩／キャンバス  
71.0×39.0  
府中市美術館

III-2  
ショールの女 (戸の前に)  
澤部清五郎  
1913 (大正2) 年頃  
油彩／キャンバス  
80.4×65.0  
星野画廊

III-3  
裸婦  
柳瀬正夢  
1919 (大正8) 年  
油彩／キャンバス  
45.8×38.3  
武蔵野美術大学美術資料図書館

III-4  
自画像  
柳瀬正夢  
1920年代  
油彩／布  
27.8×21.7  
武蔵野美術大学美術資料図書館寄託

III-5  
自画像  
岸田劉生  
1912 (明治45・大正1) 年  
油彩／キャンバス  
33.3×24.1  
東京都現代美術館

III-6  
婦人  
足立源一郎  
滞欧期 (1914-1925)  
油彩／キャンバス  
60.5×50.0  
目黒区美術館

### 2. 色の反発と調和一補色

III-7  
ルクサンプール公園の噴水  
児島虎次郎  
1920-23 (大正9-12) 年  
油彩／キャンバス  
51.3×62.8  
府中市美術館

III-8  
ほのかな晩景色  
柳瀬正夢  
1919 (大正8) 年  
油彩／キャンバス  
65.5×80.5  
武蔵野美術大学美術資料図書館

III-9  
風景  
柳瀬正夢  
1921 (大正10) 年  
油彩／板  
25.0×34.0  
武蔵野美術大学美術資料図書館寄託

III-10  
女  
里見勝蔵  
1930 (昭和5) 年  
油彩／キャンバス  
80.3×116.7  
目黒区美術館

III-11  
勾玉 (2個 緑)、管玉 (71個 赤)  
長野県長野市篠ノ井小松原光林寺山林  
弥生時代  
勾玉1.6、3.0／管玉0.5~4.7  
東京国立博物館

III-14  
尾上菊五郎の曾我五郎と坂東三八の朝比奈  
鳥居清倍二代目  
1753 (宝暦3) 年  
版元：丸屋小兵衛  
細判紅摺絵  
千葉市美術館

III-15  
中村富十郎の地紙売  
鳥居清広  
1752-1758 (宝暦2-8) 年  
版元：堺屋九兵衛  
細判紅摺絵  
千葉市美術館

III-13  
酔李白図  
狩野秀頼  
桃山時代 永祿9 (1566) 年  
紙本着色  
94.8×31.6  
板橋区立美術館

III-12  
猖々緋羅紗地鋸齒模様釘紋陣羽織  
江戸時代 17世紀  
丈91.0、衿24.0  
個人蔵

III-16  
京美人夏化粧図  
祇園井特  
江戸時代 文化年間 (1804-18)  
64.5×40.9  
紙本着色 一幅



東京国立博物館

Ⅲ-17

衝立に倚る遊女図

森玉僊

江戸時代 文化年間 (1804-18)

紙本着色 一幅

100.8×29.9

東京国立博物館

Ⅲ-18

浮世四十八手 夜をふかして朝寝の手

溪斎英泉

江戸時代 文政年間 (1818-30)

大判錦絵

ポーラ文化研究所

Ⅲ-19

美艷仙女香という 白粉に

溪斎英泉

江戸時代 文政年間 (1818-30)

大判錦絵

ポーラ文化研究所

Ⅲ-20

紅板

(都紅 京都名産・みやこ紅本舗 紅清謹製)

紙

明治時代

12.0×6.0

ポーラ文化研究所

Ⅲ-21

紅猪口-小町 (日の出製)

明治時代

ポーラ文化研究所

Ⅲ-22

紅猪口 (4点入り)

(寒製御化粧料 京紅)

明治時代

ポーラ文化研究所

Ⅲ-23

紅猪口

(京都四条 紅平製)

個人蔵

Ⅲ-24

本紅

米沢紅花研究所

(鈴木孝男氏製作)

径9.0

個人蔵

---

## Ⅳ. 現代の表現

---

### 1. 豊潤な空気

Ⅳ-1

ツヅク

押江千衣子

1997 (平成9) 年

162.0×388.0

オイルパステル、油彩／キャンパス

作家蔵

Ⅳ-2

フリル

押江千衣子

2000 (平成12) 年

油彩、オイルパステル／キャンパス

181.8×227.3

西村画廊

Ⅳ-3

光景

加藤良造

1995 (平成7) 年

194.0×130.3

岩絵具、顔料、染料／雲肌麻紙

作家蔵

# A Shriek from an Invisible Box —見えない箱からの鋭い叫び—展

会期：2001（平成13）年10月10日（水）～11月25日（日）

会場：展示室A・B・C、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ室

主催：目黒区美術館

協力：満志子（インディペンデント・キュレーター／アーティスト）

担当学芸員：福永重樹、佐川夕子

本展は、彫刻・絵画・ジュエリー・テキスタイル・ガラス・陶芸・金工など、幅広いジャンルで活躍中の作家たちに、展示スペースとそこに設置される作品の大きさや個数、そして作品輸送方法（各国の郵便制度を利用して当館に送付）を骨子とする出品規制を定め、作品制作を委嘱したもので、計31ヶ国96人の作家を集めた展覧会となった。また、本展では、作品の技法や内容などについては、各作家の自由に一任。このため、展覧会のタイトルに示された“Shriek” —何かが変わった時、あるいは何かを変える時に発せられる短い鋭い「叫び」—と、“Invisible Box” —作家たちに与えられた空間、そして「見えない箱」のように私たちを取り囲むさまざまなスケールの物理的な、あるいは制度やシステムとしての世界—をキーワードに、異なったバックグラウンドの上に、異なった思考と手法がつくりだした96個の小宇宙の集合体ともいえる展覧会となった。

## [出品規定]

展示スペース：36cm×36cm×20cm（14"×14"×8"）の直方体の空間

作品のサイズ・個数：各18cm×18cm×20cm（7"×7"×8"）以内、3個または3パーツ以上

素材：以下のものを除く、あらゆる素材を使用することができる

・生物 ・毎日手入れが必要なもの ・過度に複雑なメカニズムを持っているもの

## ● カタログ

寸法：14.5×14.5×2.8cm

形式：折りたたみ式、ケース付

## ● ポスター

サイズ：B2

デザイン：大向 務

## ● チラシ

サイズ：A4

デザイン：大向 務

## ● 関連催事

スライド・レクチャー

「A Shriek from an Invisible Box —見えない箱からの鋭い叫び—」

講師：満志子（本展発案者）

日時：10月10日（水）午後3時30分から午後5時まで

会場：目黒区美術館 ワークショップ室

## ● 関連記事

「[ナビゲーター] 遺言展—見えない箱からの鋭い叫び」（三）

朝日新聞（夕刊）2001年11月17日



B2ポスター



会場風景

## 出品リスト

・すべての作品は出品規定に基づき、36cm×36cm×20cmの立体（見えない箱）内に設置された18cm×18cm×20cm以内の3個または3パーツ以上で構成されている。

No. 作家名 / 欧文作家名 (在住国)

作品名 / 欧文作品名	制作年	素材・材質
1 フェルナンド・アンドルセッティ / Fernando ANDOLCETTI (イタリア) アンダンテ コン プリオ / Andante Con Brio	1996、1999、2000年	ミクストメディア
2 グレアム・ベネット / Graham BENNETT (ニュージーランド) (1) 海の思い出 / Ocean Memories (2) 発見の果て / Edge of Discovery (3) 位置の定義 / Defining Positions	2000-2001年 2000-2001年 2000-2001年	木、ステンレス、石 木、ステンレス 木、ステンレス、石
3 ジョシュア・ベンノア / Joshua BENOR (アメリカ合衆国) 機会 / Chance	2000-2001年	木 (チーク、ウォールナット)
4 モーレス・バーンセン / Marloes BERNSEN (南アフリカ共和国) トパーズの輝き / Topaz Rising	2001年	トパーズ、ブロンズ、木
5 マリアン・ビューレンガ / Marian BIJLENGA (オランダ) 写しだされたイメージ / Mirror Images	2001年	馬の毛、針金
6 ズルタン・ボハス / Zoltán BOHUS (ハンガリー) 無の空間 / Empty Space	2001年	ガラス
7 マイケル・パーク / Michael BURKE (アメリカ合衆国) 見えない箱を調べている芸術家 / The Artist Studies the Invisible Box	2001年	アルミニウム
8 トム・バター / Tom BUTTER (アメリカ合衆国) 集会 / Congress	2000年	ファイバーグラス、針金、スチール、プレキシガラス
9 ライマー・カルディオ / Rimer CARDILLO (アメリカ合衆国) アルマジロ / Armadillo	2001年	ブロンズ、鏡、木
10 ラニ・カーソン / Rani CARSON (アメリカ合衆国) 立体化されたダビデの星と石 / 3-D Star of David & The Uncarved Block	2001年	厚紙、紙、ソープストーン
11 レオナード・ケイヴ / Leonard CAVE (アメリカ合衆国) 中心3 / Core Three	2001年	アクリル
12 メシウ・ダルジール / Matthew DALZIEL ロイス・スカリオン / Louise SCULLION (スコットランド) 北への理念 / The Idea of North	1999年	ミクストメディア

13	ダイヤモンド・シャーリー / Shirley DIAMOND (イギリス) 庭に帰る (1部、2部、3部) / Returning to the Garden (Part I, II, III)	2001年	紙、木
14	ハイデ・ドバーコウ / Heide DOBBERKAU (ドイツ) (1) ねずみ / Rat (2) かえる / Frog (3) かたつむり / Snail	1993年 1991年 1998年	ブロンズ ブロンズ ブロンズ
15	ロバート・ドナヒュー / Robert DONAHUE (アメリカ合衆国) 青の習作 / Study in Blue	2001年	木
16	ウーガ・ドラヴァ / Uga DRAVA (カナダ) エア・オン・ペアー / Air on a Pair	2000年	ブロンズ
17	ジョアオン・ドゥアーテ / João DUARTE (ポルトガル) なぜやいな気分の時、私は月の上で解決方法を見つける / In the slovenliness, I find the ways in the moon	2001年	大理石、綿糸
18	ローラ・フェイス / Laura FACEY (ジャマイカ) 見えない箱からの静かな鋭い叫び / Silent Shriek from an Invisible Box	2001年	ソーブストーン、金箔、くぎ
19	ダン・フィアルディニ / Dan FIALDINI (ブラジル) 愛はどこかに / Love is Somewhere	2001年	大理石
20	マニュエラ・フィリアチ / Manuela FILIACI (アメリカ合衆国) よじ曲げられた幾何学模様 / Warped Geometry	2001年	油彩、紙、厚紙
21	レオンダ・フィンク / Leonda FINKE (アメリカ合衆国) 暗い過去の像	2001年	ブロンズ、木、線描
22	アントニオ ガブリエル デ ポーラ・フォンゼカ / Antonio Gabriel de Paula FONSECA (ブラジル) 期待! / Hopel	2001年	鉛、アクリル
23	ヴィルジーニア・フロイス / Virginia FROIS (ポルトガル) 住居 I、II / Dwelling I, II	1998年	テラコッタ
24	レインハルト・フロッシャー / Reinhard FROTSCHER (グアテマラ) 心臓から心臓へ / From Heart to Heart	2001年	ミクストメディア
25	ガーランド・ブレンダ / Brenda GARAND (アメリカ合衆国) 分捕品 / Booty	2001年	スチール、鉛、布、油絵具

26	ガブリエラ・ガスパロヴァ=イレソヴァ / Gabriela GÁSPÁROVÁ-ILÉSOVÁ (スロバキア)		
	Sondes MMI / Sondes MMI	2001年	石、アルミニウム
27	デリオ・ジェンナイ / Delio GENNAI (イタリア)		
	染色体の扱い / The Handling of Chromosomes	2001年	紙、ガーゼ、ガラス、金属
28	バーンド・グウベル / Bernd GÖBEL (ドイツ)		
	精神状態 (6点シリーズのうちの2、5、6番目) / Mental States (2nd, 5th and 6th Sculpture in a series of six)	1992年	ブロンズ
29	エリザベッタ・ガット / Elisabetta GUT (イタリア)		
	月と自転車 / Moon-Bike (Poem-Object)	2000年	木、金属、紙
30	シドニー K.・ハンバーガー / Sydney K. HAMBURGER (アメリカ合衆国)		
	(1) Ahab's Folly	2001年	木、羽、石、プラスチック
	(2) Elegandrite	2001年	木、羽、石、プラスチック
	(3) Baal's Piece	2001年	木、金箔、プラスチック
31	ダヌータ・ハレムスカ / Danuta HAREMSKA (ノルウェー)		
	クラム・ギャザー / Crumb Gatherers	2000年	ブロンズ、紙
32	ヨープ・ハリング / Joop HARING (オランダ)		
	野外彫刻 / The Urban Sculpture	2001年	木、塗料
33	春木 均夫 / Tadao HARUKI (日本)		
	歪んだ水 / Contorted Water	2001年	粘土、絹糸、ガラス
34	マリオン E.・ヘルド / Marion E. HELD (アメリカ合衆国)		
	骨の太鼓とアキレスの肋骨 / Bone Drums and Achilles' Rib	2001年	焔器、ゴム、紐
35	マイロン・ヘルフゴット / Myron HELFGOTT (アメリカ合衆国)		
	(1) 耐えられない衝動 / Unbearable Urges	2001年	紙、アセテート
	(2) 正直でいたい / I want to be Honest	2001年	紙、アセテート
	(3) 僕は近頃不幸である / I've been Unhappy Lately	2001年	紙、アセテート
36	クリスティーン・ヘルヤー / Christine HELLYAR (ニュージーランド)		
	(1) 着飾った王女 / Preening Queen	2000年	ブロンズ、軽石
	(2) 高位の王族 / High Consort	2000年	ブロンズ、軽石
	(3) 下位の王族 / Low Consort	2000年	ブロンズ、軽石
37	アナ・ヘルナンド / Ana HERNANDO (スペイン)		

(1) 接吻 / The Kiss	1992年	ブロンズ、大理石
(2) 抱擁 / The Embrace	1993年	ブロンズ、大理石
(3) 星を眺める / Looking a Star	1993年	ブロンズ、大理石
38 シェイラ・ヒックス (+ R. クラーク) / Sheila HICKS (with R. Clark) (フランス)		
愛の捕虜 / Prisoner of Love	2001年	絹、リネン、粘土
39 エリック J.・ヒッグス / Eric J. HIGGS (アメリカ合衆国)		
ある会話 / The Conversation	2001年	ブロンズ、コンクリート
40 ギャヴィン・ヒッチングス / Gavin HITCHINGS (ニュージーランド)		
表面—反射と分析 / Interface—Reflections and Dissections	2001年	ステンレス、メッキ金属、真鍮、銅、銀
41 メイリン・ホーム / Mei-Ling HOM (アメリカ合衆国)		
蠟づけされた思い出 / Waxed Memory	2001年	蠟、毛、スチレン
42 ケニー・ハンター / Kenny HUNTER (スコットランド)		
新年おめでとう、ムッシュ・ボードリヤール / Bonne Annee, Monsieur Baudrillard	2001年	ミクストメディア
43 飯塚 国雄 / Kunio IIZUKA (アメリカ合衆国)		
二十世紀の風景 / The Landscape of the Twentieth Century	2001年	粘土
44 伊藤 尚子 / Naoko ITO (日本)		
無秩序な地母神 (グレートマザー) / The Disorderly Great Mother	2001年	漆 (乾漆)、金箔、梨子地粉、色漆、螺鈿
45 エルサ・ジョンソン ターラント / JHONSON TARANTAL, Elsa (アメリカ合衆国)		
ジェスチャー I、II、III / Gesture I, II, III	2001年	磁器、針金、木
46 門田 杏子 / Kyoko KADOTA (日本)		
ジーンズは生きる / Jeans Continues	2001年	ジーンズ裂き布
47 川那部 綾 / Aya KAWANABE (日本)		
スケルツォ / Scherzo	2001年	ステンレス
48 サンラン・キム / Sang-Lan KIM (フランス)		
石の歌 / The Song of Stone—Gabuki	2000年	韓国の伝統紙
49 エリザベス・キング / Elizabeth KING (アメリカ合衆国)		
ある種の生物の組織 / Some Kinds of Tissue	2001年	磁器、黒檀、真鍮、絹、毛、ガラス
50 児玉 正美 / Masami KODAMA (アメリカ合衆国)		

(無題) / (untitled)	2001年	石
51 ブロニスワフ・クシュトフ / Bronislaw KRZYSTOF (ポーランド)		
チェスーキング (王) / King from the Cycle Chess	2001年	ブロンズ
クイーン (女王) / Queen from the Cycle Chess	2001年	ブロンズ
キャッスル (城) / Castle from the Cycle Chess (a series)	2001年	ブロンズ
52 バーバラ・レックバーグ / Barbara LEKBERG (アメリカ合衆国)		
自分自身を待ちながら II / Waiting for Myself II	2001年	ブロンズ、石板
53 マーティン・リング / Martine LINGE (ノルウェー)		
物資集積所 II、III、IV / Depot II, III, IV	2001年	ブロンズ、ゴム、蠟
54 ロバート・ロブ / Robert LOBE (アメリカ合衆国)		
自然 — (1) 発明 (2) 発見 (3) 干渉	(1) 1995年	(1) 鉄
/ Nature — (1) Invention (2) Discovery (3) Intervention	(2) 2001年	(2) 木、鉄
	(3) 2001年	(3) 木、金箔
55 ウィットフィールド・ラヴェル / Whitfield LOVELL (アメリカ合衆国)		
エンキシ I、II / NKisi I, II	2001年	木、金属、木炭
56 マリア・ルゴシー / Maria LUGOSSY (ハンガリー)		
物体 I、II、III / Object I, II, III	2001年	ガラス
57 マリット・ライカンデル / Marit LYCKANDER (ノルウェー)		
閉じこめられた手 (内へ または 中へ) I、II、III / Hands Inside I, II, III	2001年	御影石
58 エリック・マキネン / Erik MÄKINEN (フィンランド)		
人生の行路 / Course of Life	1998-2001年	ブロンズ
59 エヴァ・マコヴェック / Eva MAKOVEC (オーストリア)		
ミニプレックス / Miniplex	2001年	羽、ビーズ、布、紙、金属、シリコン、電球、木
60 満志子 / MASHIKO (アメリカ合衆国)		
浮かぶ氷山 / Wafting Iceberg	2000-2001年	アラバスター石、ステンレス
61 松崎 美美子 / Fumiko MATSUZAKI (日本)		
ある時 / Once upon a time	2001年	セラミック
62 道北 英治 / Eiji MICHIKITA (日本)		
宇宙のかけら / Cosmic Fragments	2001年	石

63	リチャード マックデーモット・ミラー / Richard McDermott MILLER (アメリカ合衆国)		
	(1) 休養 / Rest	1978年	ブロンズ
	(2) 休息 / Repose	1993年	ブロンズ
	(3) くつろぎ / Relaxation	1999年	ブロンズ
64	マウロ・マンフレディ / Mauro MANFREDI (イタリア)		
	書かれた言語の死 / Death of the Written Word	1999年	ミクストメディア
65	ジョアンナ・モウブレイ / Joanna MOWBRAY (イギリス)		
	沈黙の音符 / Silent Notes	2001年	鉛 (オルガンのパイプ)
66	中村 ミナト / Minato NAKAMURA (日本)		
	ジグザグのリズム / Rhythm of the Zigzag	2001年	アルミニウム
67	中村 洋子 / Yoko NAKAMURA (日本)		
	見えないものと見えるものの間 / Between the Invisible and the Visible	2001年	ステンレスメッシュ、土、釉薬、珊瑚、陶、木
68	モー・ニール / Mo NEAL (アメリカ合衆国)		
	行儀の悪い舌 / An Uncivil Tongue	2001年	木、石膏、フェルト、ゴム
69	アリッサ・ネグリア / Alissa NEGLIA (アメリカ合衆国)		
	レース / Lace	2001年	鉄
70	ウィル・ネットルシップ / Will NETTLESHIP (アメリカ合衆国)		
	スパイダー・ウーマン / The Spider Woman	2001年	石粉、コンクリート
71	ブライアン・オドイヤー / Brian O'DWYER (オーストラリア)		
	内庭 / Quadrangle	2001年	ブロンズ
72	トマス B.・オズドウスキー / Tomasz B. OZDOWSKI (ノルウェー)		
	連続 / Continuum	2000年	アルミニウム、ガラス
73	ベイリー・パーカー / Barry PARKER (アメリカ合衆国)		
	日本の教訓 / The Japanese Lesson	2001年	ブロンズ
74	スーザン・プラム / Susan PLUM (アメリカ合衆国)		
	花でおおわれた心臓 / Corazón Floreciendo	2001年	セメント、ガラス
75	ロゼッタ / ROSETTA (アメリカ合衆国)		
	聞いて！ / Listen!	2001年	ブロンズ



76	ピナリー・サンピタック / Pinaree SANPITAK (タイ) 乳房の葉 / Breast Leaves	2000-2001年	ブロンズ (金メッキ)
77	笹尾 周平 / Shuhei SASAO (日本) マーキング / Marking	2001年	木、紙、石膏、水彩
78	ロブ・シェリーフェル / Rob SCHREEFEL (オランダ) 巻雲 / Cirrus	1991年	大理石
79	ジョイス J.・スコット / Joyce J. SCOTT (アメリカ合衆国) 形跡 / Vestige	2000年	ビーズ、ガラス
80	セバスチャン / SEBASTIAN (メキシコ) 宇宙 / Cosmos	2001年	ブロンズ
81	関根 正文 / Masafumi SEKINE (日本) 作品 I、II、III / Work I, II, III	2001年	銅
82	キャロル・シェファード / Carole SHEPHEARD (ニュージーランド) 記念品 / Memento	2001年	ミクストメディア
83	トマス・シルベロリ / Thomas SILVEROLI (アメリカ合衆国) 永遠 / Eternal	2001年	ファイバークラス、石粉
84	マレイル・スタンケ / Mareile STANCKE (ドイツ) シュプール (痕跡) / Spuren/Marks	2001年	ミクストメディア
85	ジャンヌ・ステイヴンズ ソールマン / Jeanne STEVENS SOLLMAN (アメリカ合衆国) 始めから終わりまでの生命の儀式 / A Life's Ritual from Beginnings to End	2000-2001年	ブロンズ
86	ヘレン・スタップ / Helene STUB (ノルウェー) ラップトップ / Laptop	2001年	ビニール、リサイクル素材
87	イリナ・スウォロア / Irina SUVOROVA (ロシア) (1) 頭 / Head (2) 大海の霊 / Oceans soul (3) ポセイドンとユリシーズ / Poseidon and Ulysses	2001年 2001年 2001年	ガラス ガラス ガラス
88	ジョアナ B.・トロアコウィッツ / Joanna B. TROIKOWICZ (スウェーデン) (1) 孤独一枕 / Loneliness — Pillow (2) 落下—足もとに気をつけて / Gravitation — Watch your step!	2000年 2000年	石膏 ブロンズ

(3) ヴィーナスの鳥—創造 / Bird of Venus — Creation	2000年	ブロンズ
(4) もろい—鳥かご、スーツケース / Fragile — Cage, travelling's suitcase	1999年	ブロンズ
89 ヴァレリー・トゥエンティマン=ジョーンズ / Valerie TWENTYMAN-JONES (南アフリカ共和国)		
空に達する / Reaching for the Void	2001年	銅、銀、七宝、木
90 テオ・ヴァン デ ヴァソースト / Theo VAN DE VATHORST (オランダ)		
関係 / Relationships	1969年	ブロンズ
91 ジャカパン・ヴィラシニークル / Jakapan VILASINEEKUL (タイ)		
(1) 罠 / Trap	2001年	銅線、トタン板、アルミ板、石
(2) 追い付かれる / Be Caught	2001年	トタン線、石
(3) 一部を除くと全体がなくなる / To Take One is To Loose All	2001年	真鍮線、鉄線、アルミ板、石
92 キャロル M. ワーナー / Carole M. WARNER (アメリカ合衆国)		
(1) 死の擬人 / Thanatos	2000年	ブロンズ、ガラス
(2) 聖遺物 / Relic	2000年	ブロンズ、ガラス
(3) ざくろ模様 / Pomegranate (Collectively, The Reliquary Series)	2000年	ブロンズ、ガラス
93 マイケル・ウェストン / Michael WESTON (フランス)		
人物 / Figures	2000年	ミクストメディア
94 クヌート・ワルト / Knut WOLD (ノルウェー)		
1-2-3 / EN-TO-TRE (ONE-TWO-THREE)	2001年	木
95 ビン・シュー / Bing XU (アメリカ合衆国)		
草、葉、一枚の葉 / Grass, Leaf, Simple Leaf	2001年	プレキシガラス、塗料
96 シーシャ・ヤン / Hsi-Hsia YANG (台湾)		
残骸になる / Becoming Wreckage	2001年	蠟、ドライプラント

# 目黒区のアート・ブック 2001

会期：12月2日（日）～24日（月）

会場：展示室A・B・C、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：目黒区美術館

担当学芸員：正木 基

目黒美術館は、1987年の開館以来1998年度まで、目黒区内在住・在勤の作家の方々がその年度に発表した作品を原則に、アニュアル形式で1人1点ずつ作家自選作品を紹介し続けてきた。2001年に、同展の在り方について、目黒美術家協会、目黒区書作家協会、目黒区美芸作家協会等と目黒美術館（故・福永重樹館長）とが協議、同年から2003年までの3年間は、上記三団体作家と日本書道学校在勤作家の仕事を、3回に分けて紹介することを約した。初年にあたる本年は、目黒区美術家協会16作家、目黒区書作家協会10作家、目黒区美芸作家協会4作家、日本書道専門学校3作家、総計33作家に出品を依頼。絵画の場合30号～100号を3点（号数の和が300号まで）、版画など紙作品の場合は150cm×150cm以下の作品3点、書の場合は半切以上或いは3尺×8尺以下の作品3点、工芸の場合は150cm×150cm以下の作品3点以内とし、20～50cm×20～50cm前後の小品の場合は5点ほどの出品を原則に、ここ数年の近作・新作を中心に97点が出品された。目黒区縁のアート・ブック・工芸作家の近年の多様多彩な仕事の一端を紹介し、一般区民に区内美術の現状についてご理解いただくことはもとより、作品発表で作家間の相互触発をはかり、美術愛好家、作家の方々との交流を深める契機ともした。

● 出品目録

サイズ：A4、中とじ（ホッチキス止め）

● ポスター

サイズ：B3

● チラン

サイズ：A4

● 案内はがき

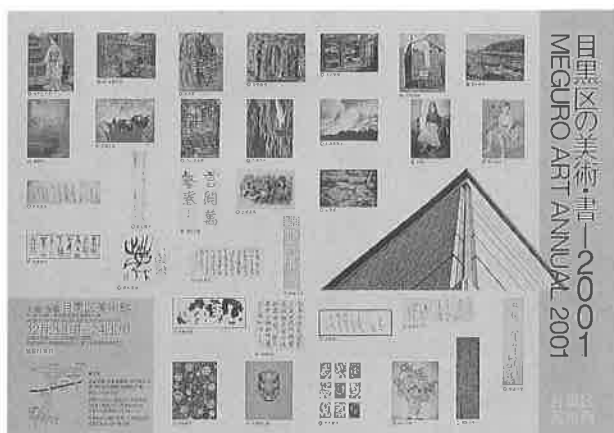
サイズ：11cm×19cm



会場風景



会場風景



B3ポスター

## 出品リスト

### 青木邦子（目黒区美術家協会）

1	連翹の咲くドイツの街	2000	166.0×143.0	油彩・キャンバス	示現会（2000.4、東京都美術館）
2	早春のドナウ川	2000	143.0×166.0	油彩・キャンバス	朱葉会展（2000.6、東京都美術館）
3	ゲーテ達の愛した眺め	2001	143.0×166.0	油彩・キャンバス	示会展（2001.4、東京都美術館）

### 天野政雄（目黒区美術家協会）

1	陽のあたる場所	2000	162.1×130.3	油彩・キャンバス	新構造展（2000.6、東京都美術館）
2	都会の孤独	2001	90.9×90.9	油彩・キャンバス	
3	同郷の二人	2001	72.7×90.9	油彩・キャンバス	

### 大淵繁樹（目黒区美術家協会）

1	長崎港夜景	1998	162.2×130.3	油彩・キャンバス	日展（1998.11、東京都美術館）
2	長崎夜景	2001	130.3×194.0	油彩・キャンバス	示現会展（2001.4、東京都美術館）

### 荻野藤枝（目黒区美術家協会）

1	木立	1996	145.5×112.1	油彩・キャンバス	日輝会展（1996.12、東京都美術館、銀賞）
2	木立	1996	145.5×112.1	油彩・キャンバス	日輝会展（1996.12、東京都美術館、銀賞）
3	森装う	1999	113.3×162.1	油彩・キャンバス	日輝会展（1999.12、東京都美術館）

### 柴原雪（目黒区美術家協会）

1	ランプとからす瓜	2001	145.5×112.1	油彩・キャンバス	亜細亜現代美術展（2001.6、東京都美術館）
2	ローマの猫	2001	80.3×100.0	油彩・キャンバス	個展（2001.9、ロイヤルコレクション）
3	猛る	2001	90.9×116.7	油彩・キャンバス	個展（2001.9、ロイヤルコレクション）

### 進藤幹弘（目黒区美術家協会）（2001年7月15日没・享年80歳）

1	電波塔	1989	145.5×112.1	油彩・キャンバス	攀展（1989、銀座アートギャラリー）
2	池畔	1997	112.1×145.5	油彩・キャンバス	示現会展（1997、東京都美術館）
3	秋色架橋	2000	112.1×145.5	油彩・キャンバス	示現会展（2000、東京都美術館）

### 種房ひさ子（目黒区美術家協会）

1	扇（せん）	1996	162.0×130.0	油彩・キャンバス	日展（1996.11、東京都美術館）
2	華（はな）	1998	162.0×130.0	油彩・キャンバス	日展（1998.11、東京都美術館）
3	憩	1999	162.0×130.0	油彩・キャンバス	日展（1999.11、東京都美術館）

### 都竹伸政（目黒区美術家協会）

1	バレリーナ	1998頃	55.0×38.0	パステル・紙	
2	踊子	1998頃	60.0×43.5	パステル・紙	
3	櫛の椅子とフランス人形	2001	65.0×80.0	油彩・キャンバス	

### 林明（目黒区美術家協会）

1	赤い服	1991	162.0×97.0	油彩・キャンバス	一水会展（1991、東京都美術館）
---	-----	------	------------	----------	-------------------

2	人物K嬢	1994	162.0×112.0	油彩・キャンバス	一水会展 (1994、東京都美術館)
3	暮色、芦の湖	1996	130.0×162.0	油彩・キャンバス	一水会展 (1996、東京都美術館)
前田美智子 (目黒区美術家協会)					
1	雲の肖像 (1)	2000	65.1×90.9	油彩・キャンバス	悠遊美術協会展 (2001.4、銀座アートプラザ)
2	雲の肖像 (2)	2001	65.1×90.9	油彩・キャンバス	
3	雲の肖像 (3)	2001	65.1×90.9	油彩・キャンバス	
森田万樹 (目黒区美術家協会)					
1	風の軌跡	1998	162.1×130.3	油彩・キャンバス	モダンアート協会展 (1998.4、東京都美術館)
2	風の軌跡	1999	162.1×130.3	油彩・キャンバス	個展 (1999.11、ギャラリーDK)
3	風の軌跡	2001	162.1×130.3	油彩・キャンバス	モダンアート協会展 (2001.4、東京都美術館)
市川登孟胡 (目黒区美術家協会)					
1	時の街	2001	116.7×80.3	和紙・岩絵具	創造美術会会員展
2	時の街Ⅱ	2001	133.0×97.0	和紙・岩絵具	
3	春の想巡	2001	133.0×97.0	和紙・岩絵具	
杉浦千秋 (目黒区美術家協会)					
1	花菖蒲	2000	53.0×65.0	岩絵具・紙	
2	蓮花 (古代蓮)	2001	91.0×65.0	岩絵具・紙	
3	月下美人	2001	91.0×65.0	岩絵具・紙	
橘熙子 (目黒区美術家協会)					
1	City	2001	162.1×112.1	岩絵具・和紙	
2	華Ⅰ	2001	97.0×130.3	岩絵具・和紙	
3	華Ⅱ	2001	97.0×130.3	岩絵具・和紙	
安田清一 (目黒区美術家協会)					
1	飛騨白川	1997	97.0×130.0	水彩・紙	第37回蒼駒会展 (1997.10、東京都美術館)
2	鎌倉	2001	70.0×100.0	パステル・紙	目黒区美術協会展 (2001.6、目黒区美術館区民ギャラリー)
3	映 (えい)	2001	70.0×100.0	パステル・紙	40周年蒼駒会展 (2001.10、東京都美術館)
土屋正男 (目黒区美術家協会)					
1	転々亦千萬劫 (きざむ)	1999	89.0×55.0	和紙・墨・版式合羽糊版 (孔)	
2	紅点上一宇宙 (おおぞら)	1999	89.0×55.0	和紙・墨・版式合羽糊版 (孔)	
3	今昔物語集より「猫怖じの大夫」	2000	50.0×90.0	和紙・墨・版式合羽糊版 (孔)	
池田少雲 (目黒区書作家協会)					
1	五言句 釈文：雲開萬壑春	2000	180.0×120.0		書壇院展 (2000.12、東京都美術館)

出典：墨場必携

- 2 宿龍興寺（慕母潛） 2000 240.0×60.0 書壇院東北展（2000.6、秋田クラリオン）  
釈文：香刹夜忘歸、松清古殿扉、燈明方丈室、珠繫比丘衣、白日傳心淨、青蓮喻法微、天花落不盡、処々鳥脚飛  
出典：唐詩選
- 3 臨胡宏甫書（篆書） 2000 240.0×60.0 毎日書道展（2000.7、東京都美術館）  
釈文：類領手足骸髮容聲欣憾悲慮意念形神聆達明審貌恭色温命也。謂性敬哉伊心頼茲具體端在宅身幾存且晝貴別獸禽  
出典：臨書作

影山房子（目黒区書作家協会）

- 1 大黒天神經（金泥） 1999 136.0×34.0  
釈文：釈文省略
- 2 褚遂良書 枯樹賦 臨 1998 240.0×90.0  
釈文：殷仲文は風流儒雅にして、海内に名を知らる（…以下略）  
出典：北周、庾信の文
- 3 眞野の草原 2001 240.0×60.0 毎日書道展（2001.7、東京都美術館）  
釈文：陸奥（みちのく）の眞野（まの）の草原（かやはら）遠けども面影にして見ゆとふものを  
出典：万葉集笠女郎の歌

北島菁丘（目黒区書作家協会）

- 1 面影 2001 76.0×180.0 読書法展（初出品特選、2001.8、東京都美術館、第2会場サンシャイン文化会館）  
釈文：夕されば物もひまさる見し人のこととふ姿おもかげにして  
二上の山にこもれるほととぎす今も鳴かぬか君に聞かせむ  
出典：萬葉集
- 2 焼岳 2001 242.0×61.0 日展（2001.11、東京都美術館）  
釈文：雲海のはたてに浮かぶ焼岳の細き煙を空にし上ぐる  
焼岳の煙のうちに現れて岩燕とぶ青雲の上に  
出典：窪田空穂
- 3 暮秋 2001 165.0×50.0 書道同文展代表者展（2001.10、鳩居堂）  
釈文：おしなべて思ひしことの数々になほ色まさる秋の夕暮  
誰をかも知る人にせむ高砂の松も昔の友ならなくに  
巡り逢ひて見しやそれともわかぬまに雲隠れにし夜半の月かな  
花をこそ野辺のもつとは見にきつれ暮るれば虫の音をもききけり  
紅葉を何惜しみけむ木の間より漏りくる月は今宵こそ見れ  
出典：古今、新古今集

首藤佳泉（目黒区書作家協会）

- 1 桃栗三年 1986 60.0×78.0 慶山会展東急書展（1986.8、銀座松坂屋別館カトリアサロン、町田東急店）  
釈文：桃栗三年柿八年遠磨九年俺一生  
出典：墨場必携
- 2 般若心經 1993 240.0×60.0 毎日書道会（1993.7、東京都美術館）  
釈文：魔訶般若波羅密多心經

3 面壁九年 1998 180.0×60.0 創玄34回展 (1998.3、大田区産業会館P10会場)  
 积文：面壁九年

鈴木翠石 (目黒区書作家協会)

1 幽居 韋応物詩 2001 70.0×170.0 墨翠会展 (2001.2、東京銀座画廊美術館)

积文：貴賤雖異等 出門皆有營 獨無外物牽 遂此幽居情  
 微雨夜來過 不知春草生 青山忽已曙 鳥雀繞含鳴  
 時與道人偶 或隨樵者行 自當安蹇劣 誰雖薄世榮

出典：新訂中国古典選 唐詩選 (朝日新聞社)

2 嶺南道中 李德裕詩 2000 300.0×65.0 日本書道院展 (2000.6、東京都美術館)

积文：嶺水爭分路轉迷 桃榔椰葉暗蠻溪  
 愁衝毒務逢蛇草 畏落沙虫避燕泥  
 五月畚田収火米 三更津吏報潮鷄  
 不堪腸斷思鄉處 紅槿花中越鳥啼

出典：中国古典選30 三体詩二 (朝日新聞社)

3 臨王羲之不審ノ清和帖 2000 255.0×66.0 墨翠会展 (2000.2、東京銀座画廊美術館)

积文：不審定何日當北 遇信復白 遲承後問 伏想清和  
 士人皆佳 適桓公十月末書為慰 云所在荒可憂  
 殷生數問北事 勢復云何 想安西以至

出典：王鐸の書法 條幅篇 (二玄社)

4 寄樂天 元稹詩 1999 37.0×92.0 墨翠会展 (1999.2、洋協アートホール)

积文：閑夜思君坐到明 追尋往事倍傷情  
 同登科後心相合 初得官時髭未生  
 二十年來諳世路 三千里外老江城  
 猶應更有前途在 欲向人間何處行

出典：漢詩名句辭典 (大衆館書店)

鶴岡雪湖 (目黒区書作家協会)

1 柿葉滿庭紅顆秋 2000 72.0×150.0 創玄現代書展 (2000.11、セントラル美術館)

积文：柿葉滿庭紅顆秋

出典：蘇軾

2 奈良閑日 2001 82.0×84.0 創玄展 (2001.3、東京都美術館)

积文：鹿 うらかな春の一日鹿の  
 やさしい眼にいろんなものが  
 映った

出典：竹中郁の詩より

3 花実芳酣 2001 85.0×110.0 毎日書道展 (2001.7、東京都美術館)

积文：花実芳酣

出典：花実芳酣

高橋華舟（目黒区書作家協会）

- 1 陳分述詩 2001 52.5×170.0 毎日書道展（2001.7、東京都美術館）  
釈文：西風斷雁聲  
落葉廻風舞  
人坐夕陽亭  
空翠下如雨  
出典：陳分述詩
- 2 「作家の指標」より 2001 59.0×178.0 読売書法展（2001.8、池袋サンシャイン）  
釈文：竹力を握る手は/やわらかい切尖の/するどさはそこから/生まれる筆を/  
持つ指もやわらかい/充実した綿は/そこから生まれる/羽毛のような雪が/  
いつしか樹木を焼/めるその静かな力/には驚ろかされる  
出典：上田三四二「作家の指標」より
- 3 月光 2001 34.0×36.5 個展（2001.8、ギャラリー近江）  
釈文：月光

堀田小葉（目黒区書作家協会）

- 1 五月雨や 2000 60.0×180.0 読売書法展（秀逸賞、2000.7、サンシャイン文化会館）  
釈文：五月雨や大河を前に家二軒  
しぶ柿の花ちる里となりにけり  
斧入れて香におどろくや冬木立  
出典：与謝蕪村
- 2 故郷は 2001 240.0×60.0 全日本書道教育普及協会展（2001.8、東京都美術館）  
釈文：故郷は雲のさきなり秋の暮  
出典：小林一茶
- 3 蕪村の世界-ふきよせ扇面 2001 180.0×180.0 二曲屏風  
釈文：春雨やこいその小貝ぬるるほど/手秋の夢はかざしの桜哉/  
菜の花や月は東に日は西に/おそき日のつもりてとほきむかし哉/  
朝顔や一りんふかき淵の色/五月雨や大河をまえに家二軒/  
夕立や草葉をつかむむら雀/門を出れば我もゆく人秋のくれ/  
うつくしや野分のあとの唐からし/たんぼの忘れ花あり道の霜  
風昨日のそらのありどころ/遠山に夕日一すじしぐれ哉/  
虹をはいて開かんとする牡丹哉/ひよどりのこぼしさりぬる実の赤さ/  
月天心まづしきまちをとほりけり  
出典：与謝蕪村

渡辺三代子（目黒区書作家協会）

- 1 牧水の歌 2001 67.0×170.0 第42回有山社書展（2001、朝日生命ギャラリー）  
釈文：ひとつかみなげさしにせるフリジヤの  
青き葉の影に蕾は多し  
出典：若山牧水歌集（角川文庫）
- 2 左千夫の歌 1996 181.0×78.0 第13回読売書法展（1996、東京都美術館）



積文：雨の夜をともし燈火（ともしび）おほろげに見ゆる牡丹の

くれないの花

天地は眼にしづみ小夜ふけて海原遠く

月朱（つきあけ）にみゆ

出典：左千夫歌集（岩波文庫）

- 3 牧水の歌 2000 150.0×150.0 第62回謙慎書道会展（2000、東京都美術館）

積文：冬草の枯れしひと葉もかがやけるよき日の崖に

浪の音きこゆ

浪のあひを漕ぎいそぐらし見えがくり沖邊に

赤きともしびの見ゆ

出典：若山牧水歌集（角川文庫）

和田司周（目黒区書作家協会）

- 1 妙法蓮華經法師功德品第十九 2001 72.0×150.0 紫紙金泥 第53回毎日書道展（毎日賞、2001.7、東京都美術館）

積文：爾時佛告常精進菩薩摩訶薩若善男子善

女人受持是法華經若誦若誦若解説若書

寫是人當得八百眼功德千二百耳功德八

百耳功德千二百舌功德八百身功德千二

- 2 孝經 1996 270.0×90.0 藍紙銀泥 第14回日本書展（内閣総理大臣賞、1996.8）

積文：孝經序 御製序并注及書 皇太子臣亨奉 勅題額

朕聞上古其風朴略。雖因心之孝已崩而資敬之禮

猶簡及乎仁義既有親譽益著。聖人知孝之可以教

人也。故因、嚴以教敬因親以教愛。於是以訓移忠之

出典：唐玄宗 石臺（台）孝經

- 3 源氏物語 2000 90.0×150.0 屏風 現代書道研究所選抜特別展（2000.4、上野の森美術館）

積文：すずむし

十五夜のゆふぐれに、仏のおまへに宮おはして、はしちかく

ながめたもひつつ、念珠したまふ。わかきあまぎみたち、二三人

はなたてまつるとて、ならすあかつきのおと、みづのけはいなどきこゆ

出典：伝藤原伊房筆、源次物語絵巻

- 4 妙法蓮華經法師品第十 1998 200.0×100.0 藍紙銀泥 日本書展（1998.7）

積文：妙法蓮華經

尔時世尊因藥王菩薩告八萬大士藥王汝見

是大衆中無量諸天龍王夜叉乾闥婆

阿修羅迦樓羅 以下略

高橋照弘（日本書道専門学校）

- 1 臨東堪石室銘 1998 135.0×135.0 第37回抱土社展（1998.10、上野の森美術館）

積文：孤峯秀時 高冠宵星

寔曰天柱 鎮帶萊城

懸崖万刃 峻極霞亭

接日開月 麗景流精 朝揮巖室 夕曬松清					
2	養心 釈文：養心	2001	68.0×148.0		
中野大雅（日本書道専門学校）					
1	風身雨心 釈文：風身雨心 出典：自句	2001	70.0×170.0		毎日展（2001、東京都美術館）
2	一笑一若 釈文：一笑一若 出典：自句	2000	70.0×135.0		抱土社展（2000、上野の森美術館）
3	高風 釈文：高風 出典：自句	2000	40.0×50.0		独立小品展（2000、セントラル美術館）
水野精一（日本書道専門学校）					
1	何時かギラギラ 釈文：何時かギラギラ	2000	70.0×200.0	画箋紙	第49回回瀾書道会（2001.1、東京都美術館）
油谷千種（目黒区美芸作家協会）					
1	空を仰いでゴッホを偲ぶ私がここに	1998	120.0×120.0	アートフラワー	
2	光とかげ	2001	100.0×80.0	アートフラワー	
今井慶子（目黒区美芸作家協会）					
1	夢ランド	1990	80.0×69.0	七宝	大宮市民展（大宮美術家協会賞、1990.10、大宮ソニックシティ）
2	古代からのメッセージ	1991	80.0×68.0	七宝	大宮市民展（大宮市議会議長賞、1991.10、大宮ソニックシティ）
3	真夜中のメリーゴーランド	1992	106.0×86.0	七宝	埼玉県創作展（埼玉県経営者協会会長賞、1992.11月）
小泉銀之助（目黒区美芸作家協会）					
1	能面（獅子口）	2000	45.0×36.0	木曾檜・布張板	第10回赤泥舎能狂言面展（2001.5、ギャラリー新宿高野）
2	能面（小牛尉）	2001	45.0×36.0	木曾檜・布張板	
3	能面（般若）	2001	45.0×36.0	木曾檜・布張板	増田秀夫氏蔵
4	能面（増女）	2000	45.0×36.0	木曾檜・布張板	第10回赤泥舎能狂言面展（2001.5、ギャラリー新宿高野）
5	狂言面（空吹（うそふき））	2001	45.0×36.0	木曾檜・布張板	
増田節子（目黒区美芸作家協会）					
1	星の祈り	1995	81.0×62.0	押し花	ジャパンフラワーフェスティバル（JFF、1995.3、岐阜メモリアルセンター）、銅賞
2	四季のわらべ歌	1996	81.0×62.0	押し花	ジャパンフラワーフェスティバル（銅賞、JFF、1996.2、マリノメッセ・福岡）
3	あのころの目黒	1997	62.0×81.0	押し花	ジャパンフラワーフェスティバル（JFF、1997.3、マロニエプラザ・宇都宮）
4	パピヨンの風	1999	62.0×81.0	押し花	ジャパンフラワーフェスティバル（銀賞、JFF、1999.2、夢メッセ・みえ）
5	花と蔓のアダージオ	2000	81.0×62.0	押し花	ジャパンフラワーフェスティバル（東海農政局長賞、JFF、2000.11、夢メッセ・あいち）

# めぐろの子どもたち展

平成13年度目黒区立幼稚園、  
小・中学校連合展覧会

会期：2002（平成14）年1月12日～1月27日（14日間）

会場：展示室ABC 展示ロビー エントランスホール ワークショップ 区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区立心身障害学級設置校長会、  
目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会

担当学芸員：矢内 みどり

同時開催：米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展

本展は、目黒区立の幼稚園・小学校・中学校（心身障害学級を含む）の幼児・児童・生徒が平成13年度に授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この鑑賞を介して子どもたちの情操を陶冶することを目的に開催した。

また、同時期に区民ギャラリーにて、米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒絵画展も開催した。

## ●リーフレット

寸法：A3（二つ折）

内容：ごあいさつ（主催者）／幼稚園／米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展／心身障害学級／小学校・図工／小学校・書写／中学校・美術／中学校・書写／展示室案内

## ●ポスター

サイズ：B3

## ●出品数：3,800点

（内訳…米国：53点、幼稚園：123点、小学校：1,986点、中学校：1,123点、身障学級：488点、興津学園：30点）

## ●入館者数：9,472人



会場風景



ポスター

# 昼下りの所蔵作品展

会期：2002（平成14）年2月9日～3月24日（38日間）

会場：展示室ABC 展示ロビー

主催：目黒区美術館

協力：株式会社トミタ

担当学芸員：家村珠代

本展で15回目を迎えた所蔵作品展では、作品を解説するようなテーマ展示をやめ、作品と作品のおかれた空間を楽しむ所蔵作品による展示を考えた。展示空間は4つ。一番大きな展示室Aは、壁紙を一面に貼り詰め、光の演出をともない、あたかも洋館の部屋に迷いこんだような空間での絵画鑑賞が楽しめた。展示室Bは、李禹煥の版画を10台の膝高の台に展示し、作品の線や点が浮かんで見えるような工夫を、床に白いフェイクファーを敷き詰めた展示室Cは、草間彌生のプライベートルームのような空間をつくった。さらに展示ロビーは、古茂田守介のアトリエともいえるような空間を演出し、4つの空間それぞれに違った世界が楽しめるような展示となった。

本展はまた、「所蔵作品だからできること」の積極的な取り組みとして、会期の終盤7日間はデジタルPBXのふたりに本展の展示空間の変容を依頼した。展示室の照明を消し、鑑賞者が背負い子状の照明（音楽付き）を背負い、その光りにより展示室を見てまわるといふ今までにない画期的な展示となった。

## ● カタログ

サイズ：25.0×17.5（畳紙・二つ折り）

19.0×28.6（中紙11枚・二つ折り）

10.8×15.0又は15.0×10.8（葉書10枚）

内容：『昼下りの所蔵作品展』について（家村珠代）／作家・作品解説（家村珠代）／葉書10枚（岡鹿之助<信号台>、川上清雄<水差し>、草間彌生<南瓜>、国吉康雄<風景>、古茂田守介<静物>、坂田一男<浴室の二人の女>、中川紀元<女と猫>、野田英夫<車中の少女>、村山槐多 スケッチブックより、李禹煥<From Line>

デザイン：コギト（笠原香苗）

## ● ポスター

サイズ：B2

デザイン：桑畑吉伸

## ● チラシ

サイズ：A4

デザイン：桑畑吉伸

## ● 関連催事チラシ

サイズ：A4

デザイン：IEKI

## ● 関連催事

・2002年2月9日「空間トーク1」 青木淳（建築家）×青木野枝（彫刻家）

・2002年3月17日「空間トーク2」 スタジオPBX（アーティスト）×都築響一（編集者・写真家）

## ● 主要関連記事

・「ときには肩の力を抜いて美術と向き合ってはどうか？」『PHP本当の時代』2002年2月号 PHP研究所発行

・「今週の1点 信号台＝「昼下りの所蔵作品展」から」毎日新聞（朝刊）2002年2月13日

- ・「見せ方工夫し、楽しみ掘り出す」朝日新聞（夕刊）2002年3月14日
- ・「公立美術館 収集予算ゼロ知恵で克服！テーマや演出変え新鮮味」中国新聞 2002年3月29日、新潟日報 2002年4月6日 他  
共同通信より
- ・「今月のランキング ベスト7」『ギャラリー』2002年5月号 205号 ギャラリーステーション
- ・「回顧 2002 美術有名展に集中、落差広がる「足元」見つめ直す試みも」朝日新聞（夕刊） 2002年12月12日

● 出品数：53点



カタログ



B2ポスター

1	梅原龍三郎	1888-1986	パリ市庁	1908年		35.0×43.1
2	海老原喜之助	1904-1970	蹄	1936年	油彩・キャンバス	111.2×144.7
3	太田三郎	1884-1969	カナベに凭る	1928年	油彩・キャンバス	53.0×65.5
4	岡鹿之助	1898-1978	信号台	1926年	油彩・キャンバス	45.7×53.2
5	川村清雄	1852-1934	水差し	1875年	鉛筆・紙	29.5×48.0
6	川村清雄	1852-1934	裸体習作	1873～81年頃	コンテ・紙	23.9×31.9
7	川村清雄	1852-1934	裸体習作	1872～81年頃	コンテ・紙	31.5×23.5
8	川村清雄	1852-1934	幼児石膏習作	1872年～81年頃	コンテ・紙	12.0×11.8
9	国吉康雄	1889-1953	風景	1929年	油彩・キャンバス	50.8×76.5
10	国吉康雄	1889-1953	ウッドストック風景	1917年	油彩・キャンバス・ボード	22.8×27.8
11	国吉康雄	1889-1953	風景	1918年	油彩・キャンバス	48.6×58.7
12	国吉康雄	1889-1953	白い家のある風景	1918年	油彩・キャンバス	30.4×38.2
13	国吉康雄	1889-1953	風景	1918年～19年	油彩・板	22.5×30.4
14	国吉康雄	1889-1953	風景	1919年	油彩・板	22.4×30.5
15	国吉康雄	1889-1953	足をつかむ右向きの裸婦	1916年～18年	エッチング・紙	7.6×10.2
16	国吉康雄	1889-1953	ベッドに横たわる裸婦	1916年～18年	エッチング・紙	7.5×10.0
17	国吉康雄	1889-1953	抱き合う男と女	1916年～18年	ドライポイント・紙	7.6×10.1
18	国吉康雄	1889-1953	一人が眠っている二人の裸婦	1916年～18年	ドライポイント・紙	7.6×10.1
19	国吉康雄	1889-1953	パイプとテーブルのそばの抱擁	1916年～18年	ドライポイント・紙	10.1×7.6
20	坂田一男	1889-1956	浴室の二人の女	1928年	油彩・キャンバス	100.1×81.0
21	里見勝蔵	1895-1981	雪景	1925年頃	油彩・キャンバス	65.4×80.6
22	高島野十郎	1890-1975	百合とヴァイオリン	大正時代	油彩・キャンバス	41.1×53.2
23	高島野十郎	1890-1975	牡丹花	大正時代	油彩・キャンバス	53.3×45.8
24	中川紀元	1892-1972	女と猫	1920年	油彩・キャンバス	143.8×59.2
25	野田英夫	1908-1939	車中の少女	1932年	油彩・ハードティクスボード	37.4×35.4
26	村井正誠	1905-1999	ゴルジュ・ド・ルー	1928年	油彩・キャンバス	80.4×100.4
27	村山槐多	1896-1919	スケッチブックより	1917年頃	鉛筆・紙	18.4×11.2
28	古茂田守介	1918-1960	踊子と塑像	1949年	油彩・キャンバス	146.0×99.0
29	古茂田守介	1918-1960	カレイ	1958年	油彩・キャンバス	24.5×33.4
30	古茂田守介	1918-1960	静物	1957年	油彩・キャンバス	61.0×80.5
31	古茂田守介	1918-1960	カイユウの花	年代不詳	油彩・キャンバス	80.5×65.5
32	古茂田守介	1918-1960	母子	1953年	油彩・キャンバス	130.0×97.0
33	古茂田守介	1918-1960	母子	1946年	油彩・キャンバス	91.5×117.0
34	古茂田守介	1918-1960	立像と葉	1958年	油彩・キャンバス	146.0×97.5
35	古茂田守介	1918-1960	横たわる裸婦	1958年	油彩・キャンバス	97.5×161.5
36	古茂田守介	1918-1960	踊り子達	1946年	油彩・キャンバス	112.5×146.0
37	古茂田守介	1918-1960	貝殻と裸婦	1959年	油彩・ボード	91.0×182.5
38	古茂田守介	1918-1960	黄色いリボンの少女	年代不詳	油彩・板	33.4×24.0
39	古茂田守介	1918-1960	静物(壺)	1956年	油彩・キャンバス	49.5×59.5
40	古茂田守介	1918-1960	木蓮	1958年	油彩・キャンバス	46.2×27.9
41	草間彌生	1929-	鏡の部屋-愛は永遠にNO.3	1964年	布・綿・塗料・木・鏡・電球他	75.0×75.0×170.0

42	草間彌生	1929-	無限の網B	1964年	アクリル・キャンバス	194.0×390.0
43	草間彌生	1929-	帽子	1985年	シルクスクリーン・紙	55.4×68.7
44	草間彌生	1929-	帽子	1985年	シルクスクリーン・紙	15.5×22.7
45	草間彌生	1929-	南瓜	1985年	シルクスクリーン・紙	15.5×22.7
46	草間彌生	1929-	南瓜	1985年	シルクスクリーン・紙	52.2×45.8
47	草間彌生	1929-	南瓜	1985年	シルクスクリーン・紙	68.5×55.0
48	草間彌生	1929-	ぶどう	1985年	シルクスクリーン・紙	60.0×49.0
49	草間彌生	1929-	ぶどう	1985年	シルクスクリーン・紙	60.0×49.0
50	草間彌生	1929-	ぶどう	1985年	シルクスクリーン・紙	52.5×45.0
51	草間彌生	1929-	南瓜	1985年	シルクスクリーン・紙	59.0×48.8
52	李禹煥	1936-	「点より線より」より (8点)	1977年	リトグラフ・紙	49.8×65.5
53	李禹煥	1936-	「From Line」より (12点)	1981年	ドライポイント・紙	46.0×55.8



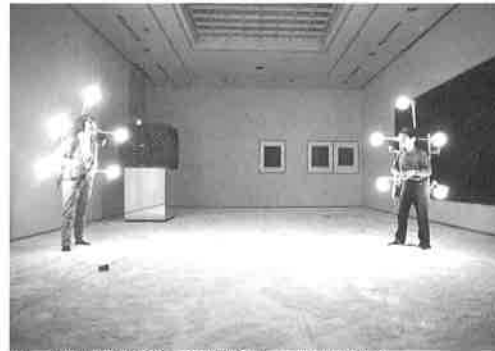
会場風景 (A展示室)



会場風景 (古茂田守介)



会場風景 (李禹煥)



展示空間変容後の会場風景 (草間彌生)

## Ⅱ. 教育普及

### (1) ワークショップ

#### ●色の博物誌・緑—豊潤な影

##### A. レクチャー 人と色の関係図

講師：天利道子（あまりみちこ・美術家／出品作家）

日時：8月5日（日） 13:00-15:30

参加者：一般35人

本展覧会、参加型作品〈記憶の森〉作者／天利道子氏によるレクチャー。色と人間の関わり合いに注目した作品〈あなたが選んだ海の色〉、〈漁師が選んだ海の色〉他、天利氏の作品をスライドとビデオで紹介しながらのトークが行われた。



##### B. 夏の緑を描く—深呼吸の奥秩父

講師：押江千衣子（おしえちえこ・美術家／出品作家）

日時：8月11日（土）、12日（日） 10:30-16:30

\*初日は日帰り旅行

参加者：小学5年生以上14人

本展覧会出品作家／押江千衣子氏による山奥で全身で緑を味わうワークショップ。1日目は奥秩父・不動滝まで、緑を全身で味わうための日帰り旅行。あいにくの雨模様だったが、滴のしたたる緑はみずみずく、霧雨や霞みかかった遠くの山々の緑と出会い、雨にもめげずに感じた緑をスケッチした。2日目は午前中は国立科学博物館付属 自然教育園に行き、追った視点で植物の緑と接する。独自の視線で描かれた夏の緑は、どれも生き生きとしていた。



##### C. 緑—自然の絵具箱

講師：関根秀樹（本草学者）

日時：8月18日（土）、19日（日） 10:30-16:30

参加者：小学4年生以上29人

何でも知っている、歩く博物館／関根秀樹氏による緑の秘密の迫るワークショップ。1日目は植物の緑の日。美術館周辺より、自分たちで空地を探し、緑の葉っぱ、黄色い花、露草をとってくる。葉っぱを乳鉢で潰す・+アルコール・アルカリ抽出、黄色い花+藍・露草などの実験により、様々な緑を作り、色彩見本とともにドローイングを行う。2日目は鉱物の緑の日。孔雀石を砕いて乳鉢で擦り、水籤。色を3段階に分け、膠を混ぜ色彩見本とともにドローイングを行う。自然の緑の美しさと不思議に迫る2日間となった。







**D. 1日ワークショップ グリーン・ハンター、目黒をゆく**

講師：榎本寿紀 (ワークショップ・エディター)

日時：8月8日 (水) 10:30-16:30

参加者：小学1年生以上4年生まで30人

参加葉書にて、雑誌の切抜きや文房具、玩具など、とにかく“緑”を持ってくることを依頼。身の回りからありとありゆる緑を集めた、〈オリジナル・緑の色彩見本帳〉を制作した。その〈色彩見本帳〉を持って、美術館から外へ出て、路地、通り、ファッションなど、目黒の緑を採集した。



**E. 緑の実験室—葉っぱの“緑”をつくる**

講師：榎本寿紀 (ワークショップ・エディター)

日時：8月23日 (木)、24日 (金) 10:30-16:30

参加者：小学1年生以上4年生まで24人

美術館周辺より、様々な葉っぱの様々な緑を集めて来る。水彩・アクリル・ガッシュ、いろいろな絵の具をグループで担当し、その中のたくさんの種類の緑と、青・赤・黄色を調合し、葉っぱと同じ緑色を作る。途中、葉っぱをミキサーで砕いて絞って緑の色汁を作ったり、乾いた緑に、絵の具を重ねたり、色鉛筆を使って緑の奥行きを広げた。



**F. ファミリーワークショップ 緑を映し撮ろう—絵具で版画—**

日時：8月15日 (水)

進行：TVTボランティアチーム

\*TVT=トイ・コレクション・ボランティアチーム

参加者：家族2人1組 16組32人

目黒区美術館トイ・コレクション・ボランティアチーム企画によるワークショップ。デカルコマニーの要領で、紙に黄色と青の絵の具を混ぜてたたみ、さらに罫糸を挟み込み、紙を開く直前に引っ張る。オリジナルな工夫がされた幼児と家族向けのワークショップ。最後はできた絵を繋げてお話しをつくり絵本にした。



<遊びの広場> からだを彩る緑色

日 時：8月4日、5日、7日、9日、10日、14日、16日、17日、21日、22日、25日、  
26日、28~31日、9月1日、2日、7~9日、14~16日 13:00-17:00

担 当：ワークショップ・アシスタント(池田まち子、山口景子)

参加者数：のべ 555人

カラー色紙と緑の色鉛筆からオリジナルの緑を作り出し、身に付けるもの／ブローチ、ネックレス、指輪などアクセサリーを想定し制作、緑の色の微妙さと形の面白さを楽しんだ。



●楽しい建築教室 2

A. 移動する小屋・一畳の空間をつくる

講 師：中里和人(なかざとかずひと・写真家)



日 時：2月10日(日)、11日(月・祝)、17日(日)、3月2日(土)、  
3日(日) 10:30-16:30

参加者：小学校4年生以上18人

小屋の肖像を撮る写真家・中里和人氏によるワークショップ。1日目はオリエンテーションを含め中里氏の作った小屋1号を組立て、2号を作るための廃材を求め、目黒区区内を歩き回る。2日目は路線バスをチャーターして江戸川河川敷、東京湾海岸、中里氏・知人の風呂屋まで行き、さまざまな材料を調達。残りの3日間で、設計から制作までを共同制作で行い、小屋2号の完成となった。

B. まちの情報探検隊-情報地図をつくる

講 師：瀧健太郎(たきけんたろう・ビデオアーティスト)



日 時：3月10日(日)、16日(土)、21日(木・祝)  
10:30-16:30

参加者：小学4年生以上8人

現代社会における人間と情報の関わりをテーマに制作活動が続けるビデオアーティストの瀧健太郎氏による都市の構造を“情報と言葉”から再発見するワークショップ。路地、区民センター、商店街などでフィールド・ワークにより「“情報”とは

何か?」「自分にとっての情報」を文字、位置関係、記号、色、形から考える。そして2グループに分かれ、目黒区内を探検。見たもの、不思議なもの、興味があったもの、などを言葉や、色、形に置き換え、独自の情報地図を制作。最後はグループの地図を交換し、自力で地図を解説し、その場所を探検した。

### C. 建築教室—セルフビルドハウス



講師：鈴木明(すずきあきら・建築家、神戸芸術工科大学教授)  
日時：3月17日(日)、24日(日)、31日(日)

10:30-16:30

参加者：小学3年生以上31人

元祖建築教室の鈴木明氏によるワークショップ。今回も木端のアーチ、ベニヤのドーム、パイプのドーム、ヘルメットなど、アーチやドームの仕組みを分かりやすく体験した。今回は、新聞紙を束ねたブロックをつみあげてゆくドームも出現。自分の入る空間を身体で考えた3日間だった。



### D. 情報都市—ことばと文字のブロックパズル

講師：瀧健太郎(たきけんたろう・ビデオアーティスト)

日時：3月27日(水)、28日(木)

10:30-16:30

参加者：新小学1年生以上小学4年生まで22名

Bコースと同じく、ビデオアーティストの瀧健太郎氏による小学生・低学年向けのワークショップ。木端のブロックに「自

分の名前」をベースに文字を描き入れ、アナグラムを中心とした「言葉遊び」=「文字遊び」を行う。混ざった文字から1人2文字ずつ選び、全員分をつなげた言葉にメロディーをつけて歌ったのには圧巻、偶然で来た意味のない言葉を楽しんだ。最後は、ブロックを積んで、言葉のちりばめられた街を作った。



### (2) ギャラリーツアー

手と目の冒険広場『色の博物誌・緑—豊潤な影』

開催日：9月4日(火)

参加者：目黒区立向原小学校 3年生 41名

午後/団体見学/目黒区立下目黒小学校/3年/47名

開催日：9月5日(水)

目黒区立月光原小学校 6年生 46名

開催日：9月6日(木)

目黒区立田道小学校 6年生 56名

開催日：9月6日(木)

目黒区立月光原小学校 3年生

開催日：9月7日（金）	
大田区立久が原小学校	4年生 119名
開催日：9月11日（火）	
目黒区立中目黒小学校	5年生 58名
開催日：9月11日（火）	
目黒区立不動小学校	4年生 49名
開催日：9月11日（火）	
目黒区立五本木小学校	4, 5年生 84名
開催日：9月12日（水）	
目黒区立原町小学校	5年生 58名
開催日：9月13日（木）	
目黒区立油面小学校	6年生 56名
開催日：9月13日（木）	
目黒区立下目黒小学校	5, 6年生 76名
開催日：9月14日（金）	
目黒区立宮前小学校	4年生 36名
開催日：9月14日（金）	
目黒区立田道小学校	5年生 41名
午後／団体見学／目黒区立下目黒小学校／2年／43名	
開催日：9月18日（火）	
目黒区立菅刈小学校	4, 6年生 95名
開催日：9月18日（火）	
太田区立入新井二小学校	4年生 76名
開催日：9月19日（水）	
目黒区立駒場小学校	5年生 53名

『国際造形展 Shlink 見えない箱からの…』

開催日：10月11日（木）	
目黒区立八雲小学校	5年生 51名
開催日：10月18日（木）	
目黒区立向原小学校	5年生 50名
開催日：10月23日（火）	
目黒区立不動小学校	4年生 49名
開催日：10月24日（水）	
富士見小学校	5年生 68名
開催日：10月25日（木）	
目黒区立下目黒小学校	4年生 54名
開催日：10月26日（金）	
大田区立東調布第三小学校	6年生 78名
開催日：11月13日（火）	
目黒区立原町小学校	4年生 43名
開催日：11月16日（金）	
目黒区立五本木小学校	6年生 36名
開催日：11月21日（水）	
目黒区立五本木小学校	5年生 36名
開催日：11月22日（木）	
目黒区立碑小学校	5年生 51名

『昼下りの所蔵作品展』

開催日：2月26日（火）  
目黒区立五本木小学校 4年生 45名

(3) ギャラリーツアー（一般観覧者）

生誕100年記念荻須高德展

生誕100年記念荻須高德展

開催日 4月21日（土）14:00～16:00 20人  
5月5日（土）14:00～16:00 20人  
5月12日（土）14:00～16:00 20人  
5月19日（土）14:00～16:00 20人  
5月26日（土）14:00～16:00 20人  
6月2日（土）14:00～16:00 20人

(4) 展覧会関連事業

① 生誕100年記念荻須高德展

講演会 「荻須高德の芸術」

講師 井関 正昭（美術評論家）

開催日 4月28日

参加者 126人

② 第38回朝日陶芸展

ギャラリーツアー

講師 福永 重樹（目黒区美術館長・朝日陶芸展審査委員）

開催日 6月23日

参加者 20人

③ 第38回朝日陶芸展

スライドレクチャー「発想から実作へ」

講師 中井川 由季（陶芸作家）

開催日 7月14日

参加者 42人

④ A Shriek from an Invisible Box—見えない箱からの鋭い叫び—

スライドレクチャー「A Shriek from an Invisible Box—見えない箱からの鋭い叫び—」

講師 満志子（本展発案者）

開催日 10月10日

参加者 38人

⑤ 昼下りの所蔵作品展

講演会 「空間トーク1」

講師 青木 淳（建築家）×青木 野枝（彫刻家）

開催日 2月9日

参加者 87人

⑥ 昼下りの所蔵作品展

講演会 「空間トーク2」

講師 デジタルPBX（アーティスト）×都築 響一（編集

者・写真家)

開催日 3月17日

参加者 110人

\*講演会に先立ち、当日10時よりデジタルPBXの2人が、本展の  
展示・空間の変更を行い、会期終了まで変更後の展示となった。

## (5) 講習会 (小中学校図工美術科教諭対象)

### ① 銅版画の魅力ーエッチング技法の体験

講師 蒲地 清爾 (銅版画家)

開催日 2月2日、16日

参加者 20人

### Ⅲ. 入館状況

展 覧 会 名	会 期	開催日数	入館者数		会 場	備 考
			総 数	1日平均		
所蔵作品展 絵面観測方 「えをかくやりかた、えをみるてだて」	13年3月3日～ 13年4月8日	7日間 (13年度分)	707人 (13年度分)	101人 (13年度分)	A,B,C,L	全期間32日間 1,882人
生誕100年記念 荻須 高德展	13年4月18日～ 13年6月3日	41日間	59,463人	1,450人	A,B,C,E,L,W	
第38回 朝日陶芸展	13年6月20日～ 13年7月22日	29日間	6,246人	215人	A,B,C,E,L,W	
色の博物誌・緑 －豊潤な影	13年8月4日～ 13年9月19日	40日間	5,669人	141人	A,B,C,E,L,W	
A Shriek from an Invisible Box －見えない箱からの鋭い叫び－	13年10月10日～ 13年11月25日	41日間	2,869人	69人	A,B,C,E,L,W	
目黒区の美術・書 －2001	13年12月2日～ 13年12月24日	20日間	1,987人	99人	A,B,C,E,L,W	
めぐろの子どもたち展	14年1月12日～ 14年1月27日	14日間	9,472人	676人	A,B,C,E,L,W,G	
昼下りの所蔵作品展	14年2月9日～ 14年3月24日	38日間	1,978人	52人	A,B,C,E,L,W	
合 計		230日間	88,391人	384人		

新匠工芸会東京春季展	13年5月8日～ 13年5月20日	12日間	914人	91人	G	
昭和シェル石油 現代美術賞展	13年7月3日～ 13年7月22日	18日間	2,240人	60人	G	
美術館協力事業 目黒区民まつり区民作品展	13年9月24日～ 13年9月30日	6日間	2,328人	388人	A,B,C,E,L,W,G	

注 A = 展示室A、B = 展示室B、C = 展示室C、E = エントランスホール、L = 展示ロビー、W = ワークショップ室、G = 区民ギャラリー

## IV. 作品収集

### ●目黒区美術館資料収集基本方針

目黒区美術館資料の収集については、優れた美術作品（以下「作品」という）と、その理解を深めるうえで補助的な役割を果たし得る資料（以下「補助資料」という）を、次の項目により計画的に収集する。

1. 近代から現代に至るわが国の美術の流れを体系的に理解するうえで有益な作品。
2. 作品の成立する過程、素材および技術と表現の関係を理解するうえで有益な作品および補助資料。
3. その他、目黒区美術館の所蔵品としてふさわしい作品および補助資料。

#### 収集対象

作 品	平面（洋画、日本画、素描、版画、書など） 立体（彫刻、工芸など） 映像（写真、映画、ビデオなど）
補助資料	素材・工程・技法などに関わる補助資料 作品制作に関わる書簡、日記など 上記収集に関わる文献

### ●収蔵作品件数

年 度	平 面	立 体	映 像	工 芸	コレクション	計
昭和56～平成12	889	35	10	29	2	965
平成13年度	7					7
計	896	35	10	29	2	972

### ●平成13年度 収集作品一覧

#### ○寄贈作品

作 家 名	作 品 名	制作年	寸 法 (cm)	素 材 ・ 技 法
荻 須 高 徳	ユエ郊外（ベトナム風景）	1942年頃	31.0×41.5（6号F）	油彩・カンバス
小 堀 四 郎	作品（女二人）		162×130（100号F）	油彩・カンバス
	フランスの朝	1928年	60.5×73（20号F）	油彩・カンバス
	モンシーニ老人	1930年	71×59（20号F）	油彩・カンバス
	ローマ	1933年	18.7×24.1（2号F）	油彩・板
	コルドバ	1932年	32.6×40.7（6号F）	油彩・ボード
	マラケシュ	1932年	32.4×41.0（6号F）	油彩・ボード

## V. 作品等貸出

### 1.平成13年度作品貸出

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期	貸出期間
鹿子木 孟郎 「海辺の牛」 「アブニューオッシュュ」	没後60年 鹿子木孟郎展	府中市美術館	平成13年4月28日 ～6月17日	平成13年4月24日 ～6月22日
高野 三三男 「裸婦3人」 「裸婦1」 「人形を持ったパリジェンヌ」 「横たわる裸婦」 「うたたね (ねむる金髪の男の子)」 「ヴァイオリンのある静物 (コンポジション)」 「街角風景(テルトル広場)」 「風景」 「つばきの髪飾の女」 「闘牛」 「風景(南仏の山の家々)」 「ほうしの女」 「裸婦」 「ファンム・アン・ヴェール」 「嘆き」 「赤い椅子の婦人」 「ナチュラルモルト」 「仮装舞踏会ニテ」 「仮装」 「アルルキナード(道化芝居)」 「デコちゃん(高峰秀子)」 「淳子嬢(A)」 「京マチ子」 「道化師B」 「緑衣」 「枯葉」 「蔵王所見」 「經子さん」	高野三三男展	湯河原ゆかりの美術館	平成13年4月19日 ～6月11日	平成13年4月6日 ～6月24日
山口 薫 「風景」 「パリ アレジアの教会」	田園シンフォニー 山口薫の芸術展	茨城県近代美術館	平成13年5月26日 ～7月8日	平成13年5月15日 ～7月14日
森田 元子 「婦人」	奔る女たち—女性画家の 戦前・戦後 1930～50年代	栃木県立美術館	平成13年10月21日 ～12月9日	平成13年10月11日 ～12月13日
諏訪 直樹 「P-1-8306」 「PH-9-8510」 「無限連鎖する絵画PART 2」 19点組	没後十一年 諏訪直樹展	三重県立美術館	平成13年11月13日 ～12月24日	平成13年11月2日 ～平成14年1月9日
前田 常作 「人間波動粒子・9×9」	前田常作展	高岡市美術館	平成14年2月9日 ～3月21日	平成14年1月31日 ～3月28日
田淵 安一 「影の通り道」	田淵安一展	北九州市立美術館	平成14年3月6日 ～3月24日	平成14年2月26日 ～3月29日
小堀 四郎 「モンシーニ老人」	小堀四郎展	豊田市美術館	平成14年3月26日 ～5月12日	平成14年3月11日 ～5月25日



## VI. 刊行

### 1 ピリエ（目黒区美術館ニュース）

目黒美術館では、美術館活動の広報を目的に、美術館ニュース「ピリエ」を発行している。「ピリエ」(Piliers)は、フランス語で「柱、支柱」あるいは「支柱となる人、物」のことで、当館のエントランスホール正面にある4本の柱を意味している。

第18号

発行：2002年2月10日

サイズ：A4

ページ数：8頁

### 2 目黒区美術館年報 平成12年度

発行：2002年2月15日

サイズ：A4

ページ数：72頁



ピリエ No.18



年報平成12年度版

## Ⅶ. 区民ギャラリー

展 覧 会 名	期 間	延日数(日)	入場者(人)
1 「神田川百景」展	4/4～4/8	5	600
2 雅風会書展	4/10～4/15	6	300
3 緑が丘写真クラブ作品展	4/11～4/15	5	200
4 第12回 一樹会	4/17～4/22	6	500
5 EDEN	4/25～4/30	6	300
6 並河座展4	5/2～5/6	5	200
7 新匠工芸会春季東京展	5/10～5/20	10	914
8 第9回えふけい会水彩画展	5/22～5/27	6	850
9 カタマリガラス・2	5/29～6/3	6	867
10 01' 第7回緑が丘A°ステル画同好会展	5/29～6/3	6	968
11 第16回 らゆう展	6/6～6/10	5	300
12 岩崎萬里展	6/13～6/17	5	550
13 シボリコミュニティ東京	6/19～6/24	6	423
14 雪幻景	6/19～6/24	6	269
15 目黒区美術家協会	6/27～7/1	5	350
16 昭和シェル石油現代美術展	7/3～7/22	18	2,240
17 第11回 勤労者美術展	7/27～7/29	3	267
18 新世紀トクダミ草の祭壇 X	7/31～8/5	6	218
19 第15回 水耀会	8/1～8/5	5	236
20 七彩羽十	8/7～8/12	6	290
21 第4回自由ヶ丘フォトクラブ作品展	8/7～8/12	6	300
22 発心会	8/15～8/19	5	650
23 自由アート2001「自由への眼差し」	8/22～8/26	5	400
24 橋本秋哇書展 併催墨洋書展	8/29～9/2	5	251
25 よしおか和写真展	9/4～9/9	6	450
26 第12回 翠粹酔展	9/12～9/16	5	200
27 第10回 目黒イーゼル会展	9/11～9/16	6	210
28 彩美会展	9/18～9/22	5	210
29 五洋会 日本画教室展覧会	9/18～9/22	5	240
30 目黒区民作品展	9/24～9/30	6	516
31 第19回 萌画会展	10/2～10/8	7	516
32 目黒区民の華道展・茶会	10/13～10/14	2	825
33 日本書学館恭栄書道院役員展	10/17～10/21	5	2,185

展 覧 会 名	期 間	延日数(日)	入場者(人)
34 第36回 目黒区文化祭 自主グループ発表会	10/23~10/28	6	575
35 ENTANI-13th-	10/30~11/4	6	100
36 光を受けて-フォトグラムの世界-	10/30~11/4	6	280
37 第30回 在日朝鮮学生美術展 東京展示会	11/6~11/11	6	2,300
38 第6回 松心会書展	11/14~11/18	5	698
39 絵手紙自遊展	11/13~11/18	6	375
40 第44回 ユネスコ美術展	11/21~11/25	5	380
41 A's展	11/28~12/2	5	250
42 草木染による染織作品展-人と自然の出会い・草木染-	12/5~12/9	5	430
43 第6回 まんさくの会展	12/11~12/16	6	200
44 S	12/19~12/24	6	300
45 500年後のいけばな	12/22~12/24	3	600
46 めぐろのこどもたち展	1/12~1/27	15	9,472
47 Juvenile A	1/29~2/3	6	200
48 もの・が・た・り 展	1/29~2/3	6	264
49 第81回 立正大学書道部学外書道展	2/6~2/11	6	156
50 杉野女子短大 生芸卒業記念展	2/13~2/17	5	350
51 赫土展	2/20~2/24	5	100
52 春水会展	2/19~2/24	6	355
53 糸遊びーボルトガル刺繍と糸のパッチワーク展	2/27~3/3	5	600
54 第48回東京地区国公立大学連合展示会	3/5~3/10	6	250
55 第80期 卒期生展覧会「蒼春展」	3/15~3/17	3	250
56 科学者による新技法の陶磁展ー仁木榮次展	3/20~3/24	5	400
57 第17回 私立中高合同美術展	3/27~3/31	5	400
合 計		307	37,055

※「区民作品展」「こどもたち展」は本館も同時に開催しているため、ギャラリーの入館者総数にカウントしない。

## Ⅷ. ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになってきた。美術館としてもそのような要望に応え、また住民のニーズを把握し、美術・文化活動の地域への振興を図っていくためにボランティア活動を積極的に援助し、活用していく必要がある。

目黒区美術館では、昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ（喫茶コーナー）の運営、ワークショップや広報活動補助等を中心に、幅広い活動を目指している。

1. ボランティア数 登録78名 その他2名
2. 活動内容
  - (1)ラウンジ運営－ラウンジ営業部  
活動時間：午後12時30分～4時30分  
（ラウンジ営業時間は、展覧会会期中の午後1時から4時まで）  
当番：原則として毎日2名
  - (2)ワークショップ企画・運営－学芸部トイコレクション班  
手と目の冒険広場「色の博物誌・緑－豊潤な影」展 ファミリーワークショップ  
「緑を映しとろう－絵具で版画－」（Fコース）  
日時：8月15日 午後1時～4時30分  
参加者：32名（家族16組）
  - (3)チラシなどの発送作業－広報部広報班  
年11回 延べ45名
  - (4)トイコレクション活動－学芸部トイコレクション班  
\*昨年に引き続き、下記の日程でアウトリーチ（出張美術館）活動実施。
    - ①「クリスマスの森」  
実施日：12月14日（金）  
場所：区民センター児童館
    - ②「トイのチカラ」  
実施日：3月6日（水）  
場所：大岡山小学校学童保育クラブ
  - (5)資料整理  
年9回 毎回2名
  - (6)ギャラリートツアー（一般観覧者対象）生誕100年記念荻須高德展  
実施日：4月21日（土）5月5日（土）5月12日（土）  
5月19日（土）5月26日（土）6月2日（土）  
午後2時～4時各定員20名  
その他研修会 2月18日（日）午後2時～4時他3回
  - (7)その他  
曜日別見学会・総会実施
3. 年間活動記録
  - ①バスツアー  
実施日：2月2日（土）  
行き先：ベルナルル・ビュフェ美術館／佐野美術館  
参加者：39名
  - ②ボランティア向けギャラリートーク「昼下りの所蔵作品展」  
実施日：3月16日（土）  
解説：家村珠代（学芸員）  
参加者：15名

## Ⅸ. 美術館実習

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、検討の結果、平成8年度を初年度としてこれを受け入れ、平成13年度は6回目となる。

実習期間、実習内容等については、担当学芸員との面接により決定する。

(提出書類) 履歴書、アンケート、学長からの依頼書等。

平成13年度 ・実習生13人

・実習期間 8日～22日間

6月初旬～12月下旬

## X. 名簿

### (1) 財団法人目黒区芸術文化振興財団理事・監事

(順不同、平成14年3月31日現在)

役職	氏名	備考
理事	大塩 晃雄	目黒区教育委員会教育長
〃	貝川 肇	東京商工会議所目黒支部副会長
〃	長澤 三郎	(財)目黒区芸術文化振興財団事務局長
〃	後藤美代子	徳島文理大学文学部教授
〃	真室 佳武	東京都美術館長
〃	加藤 玲子	目黒ユネスコ協会会長
〃	岡 弘道	くらしき作陽大学客員教授
〃	清野 久利	目黒区文化施設担当部長
〃	橘田恵美子	洗足学園大学教授
〃	朝倉 健吾	上目黒2丁目地区市街地再開発組合理事長
監事	石原 一郎	税理士
〃	岡本 啓恵	目黒区副収入役

### (2) 財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員

(順不同、平成14年3月31日現在)

役職	氏名	備考
評議員	二ノ宮啓吉	目黒区議会議員
〃	下岡 興治	目黒区議会議員
〃	川崎恵利子	目黒区議会議員
〃	沢井 正代	目黒区議会議員
〃	千葉 泰男	目黒区立宮前小学校長
〃	遠藤 正則	目黒区立第11中学校長
〃	赤穴 宏	洋画家
〃	田淵 保夫	書作家
〃	安原 喜孝	陶芸家
〃	岡田 嘉子	目黒区子ども会連合会副会長
〃	笹川 文彦	目黒区住区住民会議連絡協議会
〃	望月 昇	目黒区文化団体連合会常任理事
〃	井上 正男	連合目黒地区協議会副議長
〃	鷲見 康郎	目黒クラシック音楽家協会
〃	今中美耶子	弁護士
〃	平田オリザ	劇作家
〃	飯塚 敦子	自由が丘女声合唱団
〃	松野下 健	都立大付属高校副校長
〃	丹野 稔	(財)日本余暇文化振興会

### (3) 目黒区美術館資料収集委員会

(順不同、平成14年3月31日現在)

役職	氏名	備考
委員	細野 正信	元高崎タワー美術館館長
〃	長谷部満彦	茨城県陶芸美術館館長
〃	原田 光	神奈川県立近代美術館専門学芸員
〃	猿渡紀代子	横浜美術館学芸部企画課長
〃	松本 透	東京国立近代美術館美術課長

# XI. 施設

## ●工事概要

### 建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号  
地域・地区：住居地域・準防火地域・第3種高度地区  
敷地面積：2,033.53㎡  
建ぺい率：66.45%  
容積率：199.61%  
構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造  
地上3階・地下1階  
建物高さ：17.89m  
延床面積：4,059.21㎡

### 構造

主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造  
その他：外壁花崗岩貼りジェットバーナー仕上げ（乾式工法）  
工期：着工昭和60年12月2日  
竣工昭和62年3月31日  
設計・監理：株式会社日本設計事務所  
建築：株式会社竹中工務店東京本店  
空調設備：株式会社朝日工業社本店  
衛生設備：足立工業株式会社東京支店  
電気設備：中国電気工事株式会社東京支店  
昇降機設備：横浜エレベーター株式会社

## ●面積表

### 展示・教育普及

展示室A：319.10㎡  
展示室B：170.46㎡  
展示室C：65.80㎡  
展示ロビー：44.80㎡  
ワークショップ：148.47㎡  
廊下・階段・その他：203.17㎡  
小計：951.8㎡

### 区民ギャラリー

区民ギャラリー：379.53㎡  
控室：14.5㎡  
区民ギャラリーエントランス・階段・その他：198.82㎡  
小計：592.85㎡

### 研究調査

資料室：102.79㎡  
修復室：46.09㎡  
小計：148.88㎡

### 収蔵

収蔵庫A：408.36㎡  
収蔵庫B：53.85㎡

前室：48.53㎡  
荷解室：62.58㎡  
搬出入口：56.57㎡  
展示用具室：73.40㎡  
エレベーター・倉庫・その他：229.63㎡  
小計：932.92㎡

### 管理

事務室：58.05㎡  
館長室：32.47㎡  
理事長室：24.58㎡  
中央管理室：20.64㎡  
休養室：24.29㎡  
ワークショップ準備室：31.36㎡  
映像準備室：14.40㎡  
廊下・階段・その他：178.18㎡  
小計：383.97㎡

### ホール等

エントランス：169.85㎡  
ラウンジ：55.84㎡  
ベビーコーナー：5.27㎡  
廊下・その他：343.58㎡  
小計：574.54㎡

### 機械室等

機械室：277.14㎡  
電気室：67.59㎡  
エレベーター機械室・自家発電電気室・その他：129.52㎡  
小計：474.25㎡

合計：4,059.21㎡

## XII. 沿革

- 昭和45年 長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定
- 昭和54年 7月 長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定  
12月 美術館開設準備室設置
- 昭和55年 3月 目黒区美術博物館建設検討委員会設置  
4月 「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行
- 昭和56年 1月 目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」  
3月 目黒区美術博物館建設専門委員設置  
4月 目黒区美術博物館（仮称）設置の方針策定  
11月 目黒区立美術館（仮称）資料収集委員会要綱を制定
- 昭和57年 2月 博物館併設構想から美術館単独構想へ変更  
3月 第一回資料収集委員会開催－資料収集を開始  
10月 区制施行50周年記念事業に位置づけ
- 昭和59年 2月 目黒区美術館（仮称）基本構想策定（58年6月策定開始）  
10月 目黒区美術館（仮称）基本設計策定
- 昭和60年 3月 目黒区美術館（仮称）実施設計策定  
6月 目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置  
8月 目黒区美術館開設準備顧問就任  
目黒区美術館マーク制作  
11月 「プレビュー・目黒区美術館」展開催（11/12－11/17）  
12月 目黒区美術館（仮称）新築工事起工式（12/12）
- 昭和61年 7月 美術館管理運営の財団委託方針決定  
9月 「プレビュー・目黒区美術館2」展開催（9/9－9/15）  
12月 目黒区美術館（仮称）新築工事定礎式（12/5）
- 昭和62年 3月 「目黒区美術館条例」公布  
4月 目黒区美術館新築工事落成式（4/14）  
10月 財団法人目黒区芸術文化振興財団設立（10/1）  
11月 目黒区美術館開館（11/15）



## XIII. 案内

観覧時間：午前10時～午後6時

(ただし入館は午後5時30分まで)

休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）

年末年始

観覧料：展覧会ごとにその都度定める。



交通案内：

- JR 山手線目黒駅（西口）、東急目黒線（都営三田線、営団南北線）目黒駅より徒歩10分
- バス、渋谷駅より東急 波41-大井町駅行、田道小学校入り口下車3分

目黒駅より、東急、都営

黒01-大岡山小学校行

黒02-二子玉川園行

黒06-三軒茶屋行

恵73-弦巻営業所行

東98-等々力操車場行

榎之助坂  
下車5分

平成13年度

## 目黒区美術館年報

平成15年3月25日発行

編集・発行—目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

Tel. 03-3714-1201(代)

印刷——(株)大塚工芸